

高齡者要望等実態調査結果概要報告書

1. 要援護者(在宅)
2. 要援護者(施設入所者)
3. 一般高齡者

佐賀中部広域連合

第2回策定委員会資料

目 次

1 . 調査の概要.....	1
2 . 要援護者(在宅)調査結果.....	2
(1) 本人の状況.....	2
(2) 家族の状況.....	3
(3) 医療等で受けている援助.....	4
(4) 介護が必要な状態になった主な原因.....	4
(5) 介護保険サービスの利用状況と利用意向について(本人・介護者)	6
(6) サービスを利用していない理由.....	13
(7) ケアマネージャーへの意見根拠内容について.....	18
(8) 介護保険対象外サービスについて.....	19
(9) 佐賀県シルバー情報相談センター(シルバー110番)と在宅介護支援センターの 利用状況と利用意向.....	20
(10) 施設入所申込み状況.....	21
(11) 施設入所を希望する理由.....	21
(12) 現在のサービス利用料(1 割) 負担について.....	21
(13) 本人の希望するサービス量が確保されているか.....	23
(14) 介護保険料と介護サービスのあり方.....	24
(15) 今後の介護の希望.....	26
介護者調査	
(16) 主に介護している人の属性.....	28
(17) 主な介護者の状況.....	29
(18) 介護をするようになってからの期間.....	29
(19) 主な介護者の健康状態.....	30
(20) 一日の介護時間.....	30
(21) 主な介護者の就労状況.....	31
(22) 主な介護者が介護を行う上で困っている点.....	32
(23) 介護保険制度利用による、介護の負担の軽減感について.....	32
(24) 今後の介護保険サービス利用について.....	33
(25) 今後の介護保険対象外サービスについて.....	35
(26) 困った時の相談相手.....	36
(27) 今後の介護の方法.....	36
3 . 要援護者(施設入所者)調査結果.....	38
(1) 本人の状況.....	38
(2) 家族の状況.....	39
(3) 施設入所が必要になった主な原因.....	40
(4) 施設入所への希望要因.....	41
(5) 今後介護を受けたい場所.....	41
(6) 入所を申し込んでいる施設.....	42
(7) 利用料(1 割) 負担について.....	42
(8) 介護保険料と介護サービスのあり方について.....	43
4 . 一般高齢者調査結果.....	44
(1) 本人の状況.....	44
(2) 家族の状況.....	45
(3) 日常生活の様子.....	46
(4) 今後の介護保険サービスの利用意向.....	46
(5) 介護保険対象外サービスについての利用状況と利用意向.....	47
(6) 保健サービスについての利用状況と利用意向.....	48
(7) 相談サービスについての利用状況と利用意向.....	49
(8) 利用料(1 割) 負担について.....	49
(9) 介護保険料と介護サービスのあり方について.....	50
(10) 介助が必要になった場合の希望.....	50

1.調査の概要

➡ 調査目的

介護保険事業運営の基本計画となる「介護保険事業計画」は、第3期事業計画以降は保険料の財政均衡期間を考慮して3年を1期として見直すこととされており、また、市町村高齢者保健福祉施策の基本計画である「高齢者保健福祉計画」についても、介護保険事業計画との整合性を図る必要があることから同時期に見直す必要がある。本調査は、両計画の見直しを平成17年度中に行うため、高齢者の実態や要望等をより正確に把握し、両計画見直しの基礎資料を得ることを目的として、佐賀中部広域連合域内において実施した。

➡ 調査の種類と調査ごとの目的

(1) 要援護者（在宅者）調査

在宅の要援護者や主な介護者に対し、各種サービスの利用状況や今後の利用意向、介護保険制度に対する考え方、今後の介護のあり方などについて調査を行った。

(2) 要援護者（施設入所者）調査

介護保険の対象となる介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の入所者に対し、介護に関する現状、介護保険制度に対する考え方、今後の介護のあり方などについて調査を行った。

(3) 一般高齢者調査

高齢者に対し、健康に関する状況や、各種保健・福祉サービスの利用状況や今後の利用意向、介護保険制度に対する考え方などについて調査を行った。

➡ 調査対象

(1) 要援護者（在宅者）調査：在宅の認定を受けた要支援・要介護者 4,840人

(2) 要援護者（施設入所者）調査：介護保険施設入所者 1,450人

(3) 一般高齢者調査：65歳以上の一般高齢者 5,488人

➡ 調査方法、回収率

調査方法：調査員による訪問調査

回収率： 要援護者（在宅者）調査 有効票 3,813票（78.8%）

要援護者（施設入所者）調査 有効票 1,250票（86.2%）

一般高齢者調査 有効票 5,386票（98.1%）

➡ 調査基準日

平成16年10月1日

➡ 調査の実施

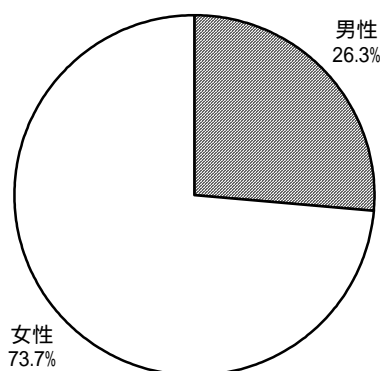
佐賀中部広域連合及び構成市町村

2.要援護者(在宅者)調査結果

各集計におけるN値 N = 3,813 : 有効票数
N = 3,050 : 本人回答数
N = 2,503 : 親族介護者数

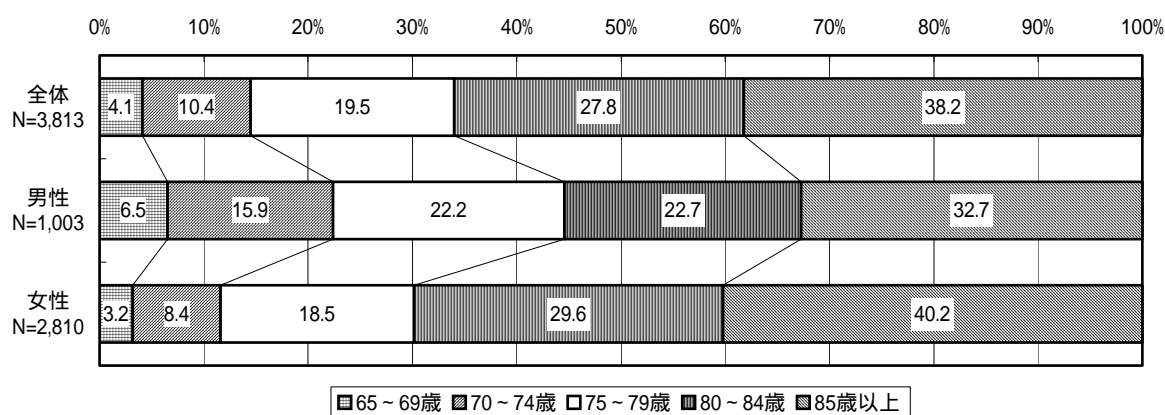
(1)本人の状況(N=3,813)

性



要援護者(在宅者)の性別構成は、「女性」73.7%に対し、「男性」は26.3%である。

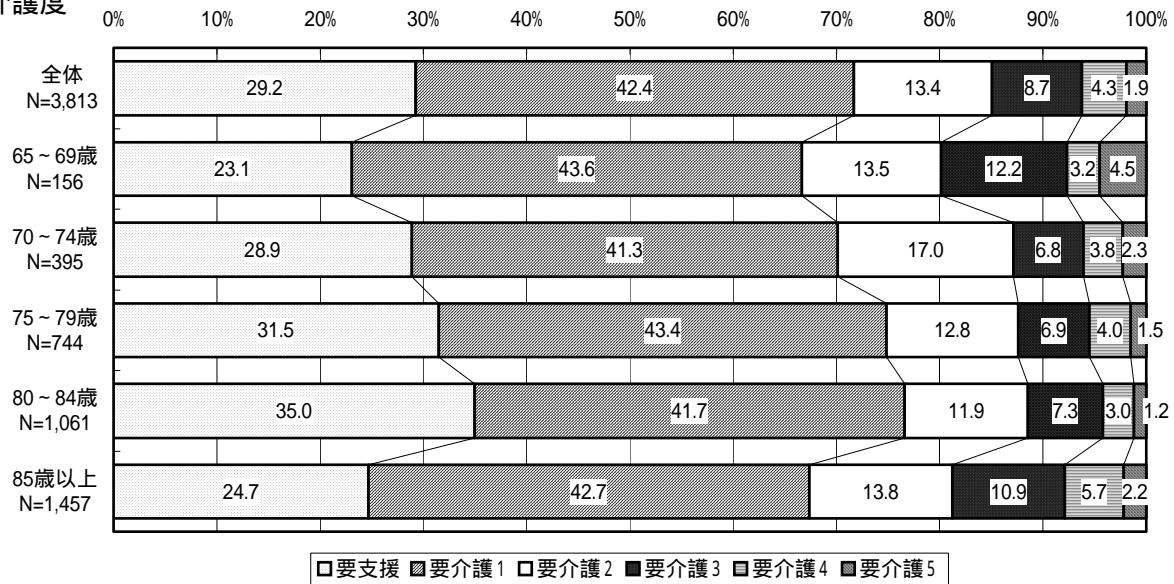
年齢構成



年齢構成は、要援護者を対象にしていることから、75歳以上の後期高齢者が85.5%を占めている。内訳は、全体では「85歳以上」が38.2%と最も高く、次いで「80歳～84歳」27.8%、「75～79歳」19.5%、「70～74歳」10.4%と年齢が高いほど割合が高い。

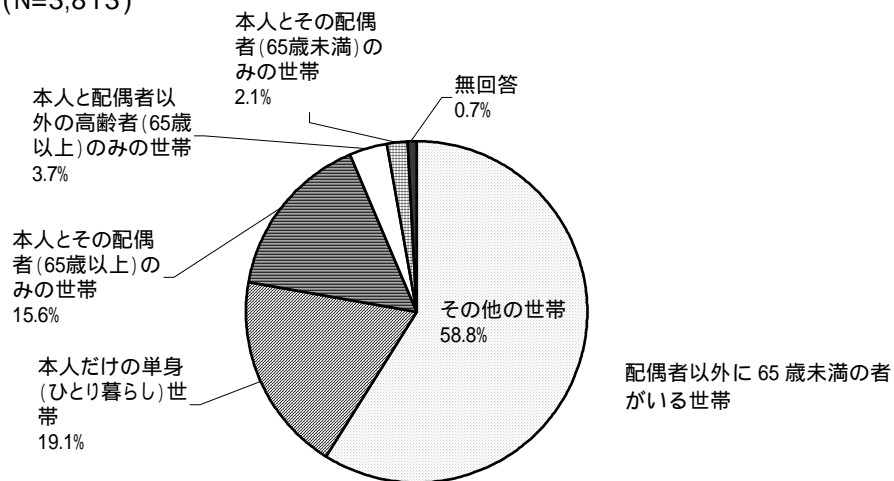
性別では、「女性」の方が「80歳～84歳」「85歳以上」の年齢層で「男性」より割合が高い。

要介護度



全体では、「要介護1」が42.4%と最も高く、次いで「要支援」29.2%、「要介護2」13.4%、「要介護3」8.7%などと続く。年齢別では、「65~69歳」は要介護1・3・5が他の年齢層に比べて最も高く、「70~74歳」は要介護2が、「80~84歳」は要支援が、「85歳以上」は要介護4の割合が他の年齢層に比べて最も高い。

(2) 問1 - 家族の状況 (N=3,813)



家族の状況は、「その他の世帯」が58.8%と最も高く、次いで「本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯」が19.1%、「本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯」15.6%などとなっている。

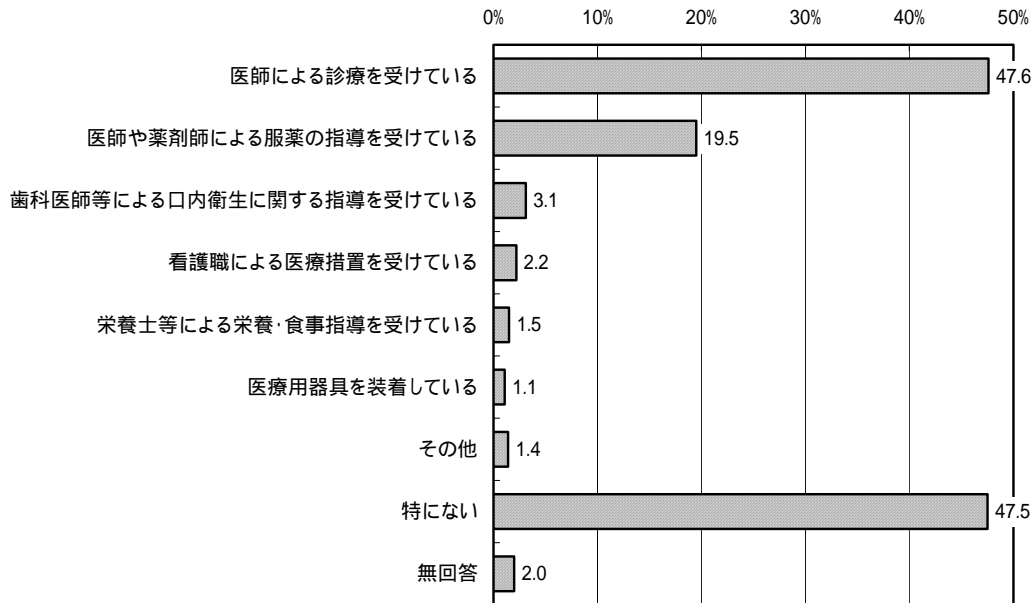
軽度・重度要介護度

(%)

	家族の状況					
	世帯(本人だけの暮らし)	み(本人とのみ)の世帯(65歳以上の配偶者)	み(本人とのみ)の世帯(65歳未満の配偶者)	以(本人と高齢者のみ)の世帯(65歳以上)	その他の世帯	無回答
全体(N=3,813)	19.1	15.6	2.1	3.7	58.8	0.7
軽度要介護者(N=2,733)	23.1	15.8	2.2	3.1	55.4	0.5
重度要介護者(N=1,080)	9.0	15.3	2.0	5.0	67.4	1.3

軽度要介護者〔要支援と要介護1〕と重度要介護者〔要介護2・3・4・5〕の分類で見ると、軽度要介護者は「本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯」、重度要介護者は「その他の世帯」の割合が高い。

(3) 問4 - 医療等で受けている援助(N=3,813、複数回答)



医療等で受けている援助は、「医師による診療を受けている」が47.6%と最も高く、次いで「医師や薬剤師による服薬の指導を受けている」が19.5%、「歯科医師等による口内衛生に関する指導を受けている」が3.1%などとなっている。「特にない」が47.5%あった。

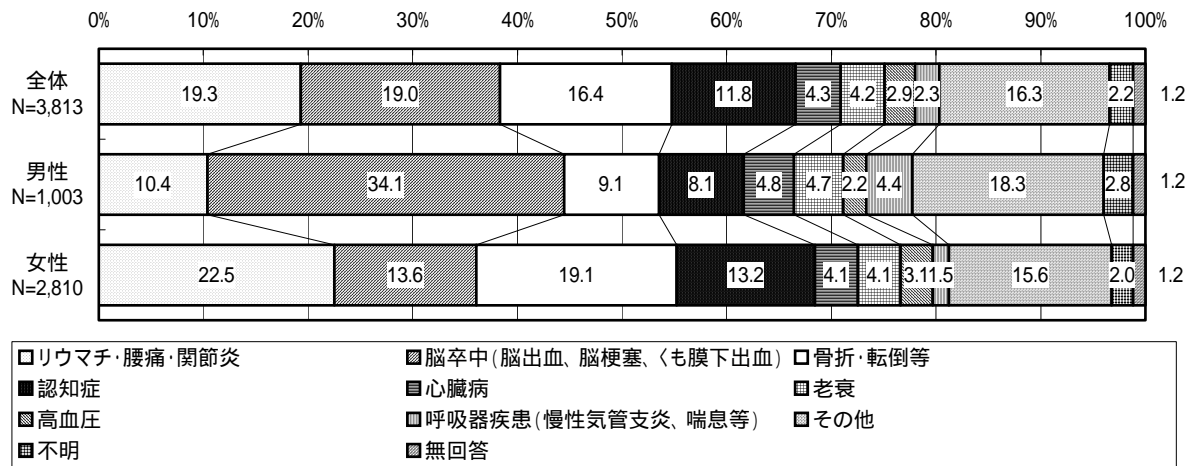
要介護度/在宅で受けている医療等の援助 (複数回答)

(%)

	受 け て い る 診 療 を	け る 医 師 の 薬 指 導 を に 受 よ	指 口 歯 導 内 科 を 衛 生 受 生 師 に 関 し る	指 看 置 護 を 職 に よ り て る 医 療	け 養 栄 で ・ 養 い 食 士 等 指 に よ る 受 栄	し 医 療 用 器 具 を 装 着	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体(N=3,813)	47.6	19.5	3.1	2.2	1.5	1.1	1.4	47.5	2.0
要支援(N=1,115)	43.1	20.5	2.7	1.0	1.1	1.1	0.9	52.8	1.6
要介護1(N=1,618)	46.3	18.8	3.0	1.1	1.8	0.8	1.7	49.1	2.0
要介護2(N=510)	51.8	22.0	3.9	2.9	1.6	1.0	1.8	41.8	2.7
要介護3(N=333)	50.8	18.9	2.7	2.7	0.6	1.5	0.9	42.9	3.3
要介護4(N=165)	60.0	16.4	3.6	7.3	0.6	1.2	0.6	35.8	0.6
要介護5(N=72)	75.0	13.9	6.9	29.2	5.6	8.3	2.8	18.1	1.4

医療等で受けている援助を、要介護度別で見ると、介護度が高い程医療等による援助を受けている割合は高い。その中で、要介護5は、「医師による診療を受けている」が高いと同時に「看護職による医療措置を受けている」割合が非常に高い。

(4) 問5 - 介護が必要な状態になった主な原因 (N=3,813)



現在の状態になった主な原因は、全体では、「リウマチ・腰痛・関節炎」「脳卒中 (脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)」「骨折・転倒等」などとなっている。

男女別では、男性では「脳卒中」の割合が34.1%と最も高く、女性は「リウマチ・腰痛・関節炎」「脳卒中」「骨折・転倒等」の3大要因に次いで「認知症」の割合が高い。

前回と比べると、「認知症」が新たな選択項目に入り、全体の上位第4位に選択されている。

軽度・重度要介護度/介護が必要になった主な原因

	リウマチ・腰痛・関節炎	脳卒中 (脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)	骨折・転倒等	認知症	心臓病	高齢	高血圧	呼吸器疾患 (慢性気管支炎、ぜんそく等)	その他	不明	無回答
全体 (N=3,813)	19.3	19.0	16.4	11.8	4.3	4.2	2.9	2.3	16.3	2.2	1.2
軽度要介護者 (N=2,733)	23.7	15.5	17.6	7.7	4.6	4.1	3.2	2.4	17.5	2.4	1.4
重度要介護者 (N=1,080)	8.1	27.8	13.6	22.3	3.5	4.6	1.9	2.0	13.4	1.9	0.8

介護が必要になった主な原因を軽度要介護者〔要支援と要介護1〕と重度要介護者〔要介護2・3・4・5〕の分類で見ると、軽度要介護者は「リウマチ・腰痛・関節炎」の割合が高く、重度要介護者は「脳卒中 (脳出血、脳梗塞・くも膜下出血)」「認知症」の割合が高い。

軽度・重度要介護度×性別/介護が必要になった主な原因

	リウマチ・腰痛・関節炎	脳卒中 (脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)	骨折・転倒等	認知症	心臓病	高齢	高血圧	呼吸器疾患 (慢性気管支炎、ぜんそく等)	その他	不明	無回答
全体 (N=3,813)	19.3	19.0	16.4	11.8	4.3	4.2	2.9	2.3	16.3	2.2	1.2
軽度・男性 (N=631)	13.0	28.4	10.8	6.2	5.1	5.7	2.7	4.9	19.3	2.9	1.1
軽度・女性 (N=2,102)	27.0	11.6	19.6	8.1	4.4	3.6	3.4	1.6	16.9	2.2	1.5
重度・男性 (N=372)	5.9	43.8	6.2	11.3	4.3	3.0	1.3	3.5	16.7	2.7	1.3
重度・女性 (N=798)	9.2	19.4	17.5	28.1	3.1	5.5	2.3	1.3	11.7	1.4	0.6

更に、軽度要介護者と重度要介護者を男女別で見ると、軽度の男性で割合が高いのは「心臓病」「高齢」「呼吸器疾患 (慢性気管支炎・ぜんそく等)」であり、軽度の女性で高いのは「リウマチ・腰痛・関節炎」「骨折・転倒等」、重度の男性は「脳卒中 (脳出血、脳梗塞・くも膜下出血)」、重度の女性は「認知症」の割合が高い。

(5) 問8-1-介護保険サービスの利用状況(N=3,813)と利用意向について〔本人(N=3,050)・介護者(N=2,503)〕

訪問介護(ホームヘルプサービス)

(%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人:利用意向				要介護度	介護者:利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答		利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	25.8	全体(N=3,050)	35.2	28.0	32.8	4.0	全体(N=2,503)	35.6	29.6	33.5	1.2
要支援(N=1,115)	28.2	要支援(N=1,065)	35.5	28.3	33.1	3.1	要支援(N=530)	34.0	27.7	36.6	1.7
要介護1(N=1,618)	26.7	要介護1(N=1,409)	34.4	28.5	32.4	4.8	要介護1(N=1,098)	36.2	29.1	33.2	1.4
要介護2(N=510)	20.8	要介護2(N=338)	33.1	29.6	33.7	3.6	要介護2(N=414)	35.7	28.5	35.3	0.5
要介護3(N=333)	19.2	要介護3(N=169)	39.1	24.3	32.5	4.1	要介護3(N=258)	30.2	35.7	32.9	1.2
要介護4(N=165)	23.6	要介護4(N=55)	41.8	20.0	34.5	3.6	要介護4(N=141)	36.9	38.3	24.1	0.7
要介護5(N=72)	41.7	要介護5(N=14)	71.4	7.1	14.3	7.1	要介護5(N=62)	58.1	17.7	24.2	-

軽度・重度要介護度/訪問介護(ホームヘルプサービス)の利用度・利用意向 (%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人:利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	25.8	全体(N=3,050)	35.2	28.0	32.8	4.0
軽度要介護者(N=2,733)	27.3	軽度要介護者(N=2,474)	34.8	28.4	32.7	4.0
重度要介護者(N=1,080)	22.1	重度要介護者(N=576)	36.6	26.6	33.0	3.8

全体回答者(3,813人)に聞いた要介護者本人の訪問介護(ホームヘルプサービス)利用経験は25.8%。特に要介護度5の経験者の割合が高い。

軽度要介護者〔要支援と要介護1〕と重度要介護者〔要介護2・3・4・5〕別で見ると、利用経験は、軽度要介護者の割合が高い。

軽度・重度要介護度×家族状況/訪問介護(ホームヘルプサービス)利用状況 (%)

		利用している	な利用していない	無回答
全体(N=3,813)		25.8	70.9	3.3
軽度要介護者	本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯(N=630)	62.1	37.5	0.5
	本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯(N=431)	39.4	58.9	1.6
	本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯(N=59)	13.6	84.7	1.7
	本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯(N=86)	18.6	80.2	1.2
	その他の世帯(N=1,514)	10.5	87.3	2.2
重度要介護者	本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯(N=97)	51.5	46.4	2.1
	本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯(N=165)	38.2	53.9	7.9
	本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯(N=22)	13.6	77.3	9.1
	本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯(N=54)	18.5	81.5	-
	その他の世帯(N=728)	15.4	76.6	8.0
無回答(N=27)		11.1	74.1	14.8

家族の状況で見ると、訪問介護を利用している割合は、軽度要介護者の「本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯」で最も高い。

一方利用意向を聞いたところ、本人回答(3,050人)と介護者回答(2,503人)の利用意向は、全サービスの中では比較的高く、本人、介護者ともに「要介護5」の利用意向が特に高い。

軽度・重度要介護度/利用希望時間、型、土・日・祝日利用希望

(%)

	利用希望時間					利用希望型				土・日・祝日の利用希望		
	週1時間未満	週1～2時間	週3～4時間	週5時間以上	無回答	身体介護型	生活援助型	身体介護と生活	無回答	希望する	希望しない	無回答
全体(N=1,073)	9.3	35.8	23.9	28.1	3.0	17.1	51.5	25.6	5.8	49.0	45.0	6.0
軽度要介護者(N=862)	10.1	38.2	23.1	25.5	3.1	11.8	59.0	23.2	5.9	45.6	48.3	6.1
重度要介護者(N=211)	6.2	26.1	27.0	38.4	2.4	38.4	20.9	35.5	5.2	63.0	31.8	5.2

軽度要介護者〔要支援と要介護1〕と重度要介護者〔要介護2・3・4・5〕別で見ると、訪問介護の利用希望時間は、軽度要介護者が「週1～2時間」(38.2%)、重度要介護者が「週5時間以上」(38.4%)で高い。利用希望型は、軽度要介護者が「生活援助型」(59.0%)、重度要介護者が「身体介護型」(38.4%)で高い。土・日・祝日のサービス希望は、重度要介護者(63.0%)が高い。

訪問入浴サービス

(%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向				要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答		利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	0.8	全体(N=3,050)	6.3	45.8	45.4	2.4	全体(N=2,503)	11.9	45.5	41.3	1.3
要支援(N=1,115)	0.4	要支援(N=1,065)	5.6	48.7	44.0	1.6	要支援(N=530)	11.7	44.3	42.3	1.7
要介護1(N=1,618)	0.4	要介護1(N=1,409)	6.4	44.9	45.8	2.8	要介護1(N=1,098)	10.9	44.3	43.4	1.4
要介護2(N=510)	1.0	要介護2(N=338)	5.9	44.7	46.7	2.7	要介護2(N=414)	11.8	44.4	43.2	0.5
要介護3(N=333)	0.6	要介護3(N=169)	9.5	39.6	47.3	3.6	要介護3(N=258)	10.5	51.9	35.7	1.9
要介護4(N=165)	3.6	要介護4(N=55)	10.9	36.4	50.9	1.8	要介護4(N=141)	15.6	54.6	29.1	0.7
要介護5(N=72)	12.5	要介護5(N=14)	7.1	57.1	28.6	7.1	要介護5(N=62)	30.6	35.5	33.9	-

要介護者本人の訪問入浴サービス利用経験は0.8%と少ない。その中で、要介護4・5の利用が高い。利用意向は、全体において介護者は本人の約2倍である。本人は要介護4、介護者は要介護5で高い。

訪問看護サービス

(%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向				要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答		利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	5.4	全体(N=3,050)	12.3	34.1	49.4	4.2	全体(N=2,503)	21.9	33.8	43.1	1.2
要支援(N=1,115)	2.2	要支援(N=1,065)	9.0	37.3	50.4	3.3	要支援(N=530)	18.7	35.8	43.6	1.9
要介護1(N=1,618)	4.5	要介護1(N=1,409)	12.3	33.4	49.9	4.3	要介護1(N=1,098)	20.1	32.4	46.1	1.4
要介護2(N=510)	5.5	要介護2(N=338)	14.2	32.5	47.9	5.3	要介護2(N=414)	21.0	34.1	44.2	0.7
要介護3(N=333)	10.2	要介護3(N=169)	20.1	28.4	46.2	5.3	要介護3(N=258)	25.6	36.4	37.2	0.8
要介護4(N=165)	12.1	要介護4(N=55)	27.3	23.6	43.6	5.5	要介護4(N=141)	29.1	37.6	32.6	0.7
要介護5(N=72)	33.3	要介護5(N=14)	57.1	7.1	28.6	7.1	要介護5(N=62)	56.5	17.7	25.8	-

要介護者本人の訪問看護サービス利用経験は5.4%と少ない。その中で、重度要介護者の利用が高い。利用意向は、本人、介護者ともに要介護5が最も高い。要介護度5の数値は前回調査(第2期事前調査)と比べて16~17ポイント高い。

訪問リハビリテーション

(%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向				要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答		利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	1.6	全体(N=3,050)	11.0	37.6	47.4	4.1	全体(N=2,503)	15.4	39.2	44.1	1.3
要支援(N=1,115)	0.4	要支援(N=1,065)	9.8	39.6	47.5	3.1	要支援(N=530)	14.2	39.4	44.5	1.9
要介護1(N=1,618)	0.9	要介護1(N=1,409)	10.1	37.5	47.6	4.8	要介護1(N=1,098)	14.3	37.4	46.8	1.5
要介護2(N=510)	2.5	要介護2(N=338)	14.5	35.8	45.9	3.8	要介護2(N=414)	17.9	37.2	44.4	0.5
要介護3(N=333)	3.6	要介護3(N=169)	14.8	30.2	50.9	4.1	要介護3(N=258)	14.7	42.2	41.5	1.6
要介護4(N=165)	6.1	要介護4(N=55)	20.0	34.5	41.8	3.6	要介護4(N=141)	17.7	49.6	31.9	0.7
要介護5(N=72)	9.7	要介護5(N=14)	21.4	35.7	28.6	14.3	要介護5(N=62)	25.8	43.5	30.6	-

要介護者本人の訪問リハビリテーション利用経験は1.6%と少ない。その中で、重度要介護者の利用が高い。利用意向は、本人は要介護4・5で利用意向が高く、介護者では要介護5で高い。

居宅療養管理指導

(%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向				要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答		利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	3.9	全体(N=3,050)	10.9	35.8	49.8	3.4	全体(N=2,503)	18.0	35.6	44.7	1.8
要支援(N=1,115)	3.4	要支援(N=1,065)	10.0	39.9	47.8	2.3	要支援(N=530)	14.9	36.0	46.4	2.6
要介護1(N=1,618)	3.0	要介護1(N=1,409)	10.4	33.9	51.9	3.8	要介護1(N=1,098)	16.4	34.6	47.3	1.7
要介護2(N=510)	3.9	要介護2(N=338)	11.8	37.0	47.9	3.3	要介護2(N=414)	20.5	35.3	43.0	1.2
要介護3(N=333)	6.9	要介護3(N=169)	17.2	24.9	50.3	7.7	要介護3(N=258)	22.5	37.6	38.8	1.2
要介護4(N=165)	4.8	要介護4(N=55)	14.5	34.5	49.1	1.8	要介護4(N=141)	19.9	41.8	36.2	2.1
要介護5(N=72)	16.7	要介護5(N=14)	14.3	35.7	42.9	7.1	要介護5(N=62)	32.3	29.0	38.7	-

要介護者本人の居宅療養管理指導利用経験は3.9%と少ない。その中で、重度要介護者の利用が高い。利用意向は、本人が要介護3で最も高く、介護者では要介護5で最も高い。

通所サービス(デイサービス・デイケア)

(%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向				要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答		利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	59.7	全体(N=3,050)	60.5	17.6	16.4	5.6	全体(N=2,503)	78.1	9.8	10.8	1.2
要支援(N=1,115)	56.1	要支援(N=1,065)	58.2	18.3	18.5	5.0	要支援(N=530)	76.2	10.0	11.7	2.1
要介護1(N=1,618)	62.8	要介護1(N=1,409)	63.4	16.4	14.4	5.8	要介護1(N=1,098)	79.1	7.7	12.0	1.3
要介護2(N=510)	60.0	要介護2(N=338)	55.9	19.2	18.0	6.8	要介護2(N=414)	80.2	11.4	8.0	0.5
要介護3(N=333)	61.6	要介護3(N=169)	62.1	17.8	15.4	4.7	要介護3(N=258)	83.7	8.9	6.6	0.8
要介護4(N=165)	53.3	要介護4(N=55)	52.7	23.6	18.2	5.5	要介護4(N=141)	70.9	19.1	8.5	1.4
要介護5(N=72)	48.6	要介護5(N=14)	64.3	14.3	14.3	7.1	要介護5(N=62)	58.1	19.4	22.6	-

軽度・重度要介護度/通所サービスの利用度・利用意向

(%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	59.7	全体(N=3,050)	60.5	17.6	16.4	5.6
軽度要介護者(N=2,733)	60.0	軽度要介護者(N=2,474)	61.2	17.2	16.2	5.5
重度要介護者(N=1,080)	58.7	重度要介護者(N=576)	57.6	19.1	17.2	6.1

要介護者本人の通所サービス(デイサービス・デイケア)利用経験は全サービスの中で59.7%と最も多い。利用意向は、本人、介護者ともに高い。軽度・重度要介護者別で見ると、軽度要介護者の方が利用意向は高い。

家族の状況/通所サービス利用経験者の割合 (%)

全体(N=3,813)	59.7
本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯(N=727)	44.3
本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯(N=596)	44.5
本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯(N=81)	66.7
本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯(N=140)	63.6
その他の世帯(N=2,242)	68.3
無回答(N=27)	48.1

通所サービスの利用者を家族の状況で見ると、「その他の世帯」が最も高い。

軽度・重度要介護度/通所サービス利用希望回数 (%)

	希望回数				
	週1回未満	週1回	週2~3回	週4回以上	無回答
全体(N=1,845)	3.0	19.2	64.3	11.8	1.6
軽度要介護者(N=1,513)	3.1	20.9	65.9	8.7	1.5
重度要介護者(N=332)	2.7	11.7	56.9	26.2	2.4

利用希望回数は、軽度要介護者、重度要介護者ともに「週2~3回」が多く、次いで軽度要介護者で「週1回」、重度要介護者で「週4回以上」の希望が高い。

短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ) (%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向				要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	ない利用したくない	わからない	無回答		利用したい	ない利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	13.8	全体(N=3,050)	23.3	34.0	39.1	3.6	全体(N=2,503)	56.1	18.3	24.4	1.3
要支援(N=1,115)	3.1	要支援(N=1,065)	17.8	38.2	41.3	2.6	要支援(N=530)	42.6	24.9	30.6	1.9
要介護1(N=1,618)	10.2	要介護1(N=1,409)	23.7	34.3	38.5	3.5	要介護1(N=1,098)	54.3	18.3	26.0	1.4
要介護2(N=510)	23.1	要介護2(N=338)	28.4	29.0	37.0	5.6	要介護2(N=414)	65.9	12.8	20.5	0.7
要介護3(N=333)	34.5	要介護3(N=169)	34.9	21.3	40.2	3.6	要介護3(N=258)	67.1	14.3	17.4	1.2
要介護4(N=165)	37.6	要介護4(N=55)	47.3	21.8	21.8	9.1	要介護4(N=141)	66.0	18.4	14.9	0.7
要介護5(N=72)	41.7	要介護5(N=14)	35.7	7.1	50.0	7.1	要介護5(N=62)	67.7	12.9	19.4	-

軽度・重度要介護度/短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)の利用度・利用意向 (%)

	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向				要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	いい利用したくない	わからない	無回答		利用したい	いい利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	13.8	全体(N=3,050)	23.3	34.0	39.1	3.6	全体(N=2,503)	56.1	18.3	24.4	1.3
軽度要介護者(N=2,733)	7.3	軽度要介護者(N=2,474)	21.2	36.0	39.7	3.2	軽度要介護者(N=1,628)	50.5	20.5	27.5	1.5
重度要介護者(N=1,080)	30.1	重度要介護者(N=576)	32.3	25.5	36.8	5.4	重度要介護者(N=875)	66.4	14.2	18.6	0.8

要介護者本人の短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)利用経験は13.8%である。その中でも重度要介護者の利用度が高く、また重度要介護者の本人、介護者の利用意向も高い。

家族の状況/短期入所生活介護・短期入所療養介護利用経験者の割合 (%)

全体(N=3,813)	13.8
本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯(N=727)	6.1
本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯(N=596)	8.6
本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯(N=81)	18.5
本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯(N=140)	17.9
その他の世帯(N=2,242)	17.2
無回答(N=27)	14.8

家族の状況で見ると、「本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯」と「本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯」、「その他の世帯」で高い。

利用意向は、利用経験に比べて高い数値を示しており、特に介護者の利用意向が本人のほぼ2倍である。本人、介護者ともに重度要介護者に利用意向が高い。

認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム) (%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	3.2	全体(N=2,503)	9.2	48.4	41.1	1.3
要支援(N=1,115)	0.4	要支援(N=530)	7.4	47.9	42.8	1.9
要介護1(N=1,618)	2.6	要介護1(N=1,098)	10.9	46.1	41.6	1.4
要介護2(N=510)	7.3	要介護2(N=414)	12.1	46.1	40.8	1.0
要介護3(N=333)	7.2	要介護3(N=258)	6.2	51.6	41.1	1.2
要介護4(N=165)	6.7	要介護4(N=141)	3.5	62.4	33.3	0.7
要介護5(N=72)	2.8	要介護5(N=62)	-	62.9	37.1	-

要介護者本人の利用経験の割合は低いが、要介護2・3・4の利用が高い。

介護者の利用意向は、要介護1・2で高い。全体で利用したくない割合が約半数と他のサービスに比べて高い。

特定施設入所者生活介護 (%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	1.7	全体(N=2,503)	6.6	51.3	40.6	1.4
要支援(N=1,115)	1.6	要支援(N=530)	8.3	48.7	40.9	2.1
要介護1(N=1,618)	1.7	要介護1(N=1,098)	6.4	49.8	42.3	1.5
要介護2(N=510)	2.0	要介護2(N=414)	5.3	50.7	43.0	1.0
要介護3(N=333)	1.2	要介護3(N=258)	7.8	54.3	36.8	1.2
要介護4(N=165)	2.4	要介護4(N=141)	5.7	61.7	31.9	0.7
要介護5(N=72)	-	要介護5(N=62)	3.2	67.7	29.0	-

要介護者本人の利用経験は1.7%と低い。介護者の利用意向は、要支援で高い。全体で利用したくない割合が約半数と他のサービスに比べて高い。

福祉用具の利用 (%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向				要介護度	介護者：利用意向			
			利用したい	な利用したくない	わからない	無回答		利用したい	な利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	36.0	全体(N=3,050)	41.7	16.0	38.4	3.8	全体(N=2,503)	57.3	15.7	25.8	1.2
要支援(N=1,115)	27.4	要支援(N=1,065)	34.8	19.6	42.9	2.6	要支援(N=530)	51.3	15.5	31.1	2.1
要介護1(N=1,618)	36.8	要介護1(N=1,409)	42.3	15.7	38.0	4.0	要介護1(N=1,098)	56.5	16.1	26.1	1.3
要介護2(N=510)	42.4	要介護2(N=338)	51.5	9.8	32.5	6.2	要介護2(N=414)	59.9	13.0	26.3	0.7
要介護3(N=333)	39.6	要介護3(N=169)	49.7	12.4	33.1	4.7	要介護3(N=258)	61.6	16.7	21.3	0.4
要介護4(N=165)	49.1	要介護4(N=55)	65.5	7.3	21.8	5.5	要介護4(N=141)	64.5	20.6	14.2	0.7
要介護5(N=72)	59.7	要介護5(N=14)	78.6	7.1	14.3	-	要介護5(N=62)	69.4	14.5	16.1	-

軽度・重度要介護度/福祉用具の利用度・利用意向 (%)

要介護度	本人利用経験	要介護度	本人：利用意向			
			利用したい	い利用したくない	わからない	無回答
全体(N=3,813)	36.0	全体(N=3,050)	41.7	16.0	38.4	3.8
軽度要介護者(N=2,733)	33.0	軽度要介護者(N=2,474)	39.1	17.4	40.1	3.4
重度要介護者(N=1,080)	43.7	重度要介護者(N=576)	53.0	10.2	31.3	5.6

要介護者本人の福祉用具利用経験は36.0%と高い。その中で、重度要介護者の利用が高い。

利用意向も本人・介護者ともに高く、ともに重度要介護者の利用意向が高くなっている。

軽度・重度要介護度/福祉用具の利用状況 (%)

	利用しているもの(複数回答)							
	品車 含む (付 属)	歩 行 支 援 用 具	特 殊 寝 台 (付 属)	具 床 ず れ 予 防 用	入 浴 補 助 用 具	腰 掛 け 便 座	そ の 他	無 回 答
全体(N=1,374)	22.0	28.5	47.6	5.5	19.2	10.9	8.5	2.0
軽度要介護者(N=902)	12.2	34.6	41.8	1.6	22.0	10.1	8.0	1.9
重度要介護者(N=472)	40.7	16.9	58.7	12.9	14.0	12.5	9.5	2.3

軽度・重度要介護度/福祉用具の今後の利用希望 (%)

	今後利用したいもの(複数回答)							
	品車 含む (付 属)	歩 行 支 援 用 具	特 殊 寝 台 (付 属)	具 床 ず れ 予 防 用	入 浴 補 助 用 具	腰 掛 け 便 座	そ の 他	無 回 答
全体(N=1,272)	32.2	34.0	48.3	10.3	16.3	8.6	6.7	3.9
軽度要介護者(N=967)	28.0	37.1	46.9	8.8	17.1	8.0	6.0	3.2
重度要介護者(N=305)	45.6	24.3	52.8	15.1	13.8	10.5	8.9	5.9

福祉用具の利用状況は、軽度要介護者では「歩行支援用具」、「入浴補助用具」が高く、重度要介護者は「車いす」、「特殊寝台」、「床ずれ予防用具」が高く、利用意向も同様の傾向を示している。

住宅改修 (%)

要 介 護 度	本 人 利 用 経 験	要 介 護 度	本人：利用意向				要 介 護 度	介護者：利用意向			
			利 用 し た い	な い 利 用 し た く	わ か ら な い	無 回 答		利 用 し た い	な い 利 用 し た く	わ か ら な い	無 回 答
全体(N=3,813)	28.8	全体(N=3,050)	25.3	22.8	47.9	4.0	全体(N=2,503)	36.6	27.3	34.6	1.4
要支援(N=1,115)	24.8	要支援(N=1,065)	26.9	23.5	46.9	2.8	要支援(N=530)	38.7	24.5	34.9	1.9
要介護1(N=1,618)	31.6	要介護1(N=1,409)	25.3	23.3	47.2	4.2	要介護1(N=1,098)	37.7	25.2	35.5	1.5
要介護2(N=510)	30.4	要介護2(N=338)	24.3	20.1	50.3	5.3	要介護2(N=414)	38.9	24.2	36.0	1.0
要介護3(N=333)	30.0	要介護3(N=169)	23.1	18.3	52.7	5.9	要介護3(N=258)	34.1	33.3	31.8	0.8
要介護4(N=165)	24.8	要介護4(N=55)	14.5	25.5	54.5	5.5	要介護4(N=141)	24.8	43.3	31.2	0.7
要介護5(N=72)	19.4	要介護5(N=14)	14.3	28.6	50.0	7.1	要介護5(N=62)	22.6	48.4	27.4	1.6

軽度・重度要介護度/住宅改修の利用度・利用意向 (%)

要 介 護 度	本 人 利 用 経 験	要 介 護 度	本人：利用意向				要 介 護 度	介護者：利用意向			
			利 用 し た い	い 利 用 し た く な	わ か ら な い	無 回 答		利 用 し た い	い 利 用 し た く な	わ か ら な い	無 回 答
全体(N=3,813)	28.8	全体(N=3,050)	25.3	22.8	47.9	4.0	全体(N=2,503)	36.6	27.3	34.6	1.4
軽度要介護者(N=2,733)	28.8	軽度要介護者(N=2,474)	25.9	23.4	47.0	3.6	軽度要介護者(N=1,628)	38.0	25.0	35.3	1.7
重度要介護者(N=1,080)	28.7	重度要介護者(N=576)	22.7	20.3	51.4	5.6	重度要介護者(N=875)	34.1	31.7	33.4	0.9

要介護者本人の住宅改修経験は 28.8%と全サービスの中で3番目に高い。軽度要介護者、重度要介護者の差は無い。

利用意向は、本人、介護者ともに高く、本人、介護者ともに軽度の方が高い。

軽度・重度要介護度/住宅改修の利用経験 (%)

	利用経験のあるもの(複数回答)						
	手すりの取り付け	床段差の解消	扉の取り替え	便器の取り替え	滑り防止及び歩行の円滑化等のための床材の変更	その他	無回答
全体(N=1,098)	89.6	34.0	10.3	21.6	6.2	7.4	1.4
軽度要介護者(N=788)	90.6	30.6	9.4	22.8	5.5	6.7	1.3
重度要介護者(N=310)	87.1	42.6	12.6	18.4	8.1	9.0	1.6

軽度・重度要介護度/住宅改修の今後の利用希望 (%)

	今後利用したいもの(複数回答)						
	手すりの取り付け	床段差の解消	扉の取り替え	便器の取り替え	滑り防止及び歩行の円滑化等のための床材の変更	その他	無回答
全体(N=773)	60.5	45.3	8.0	12.3	10.0	11.5	2.5
軽度要介護者(N=642)	62.8	45.2	7.5	11.7	10.0	10.7	1.9
重度要介護者(N=131)	49.6	45.8	10.7	15.3	9.9	15.3	5.3

住宅改修の利用経験を見ると、軽度要介護者は「便器の取り替え」が高く、重度要介護者は「床段差の解消」、「扉の取り替え」、「滑りの防止及び歩行の円滑化等のための床材の変更」が高い。

住宅改修の今後の利用希望を見ると、軽度要介護者で「手すりの取り付け」が高い。

(6)問8-2-サービスを利用していない理由

訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用していない理由(複数回答可)

	利用料が高い	本人が希望していない	家族、親戚が反対している	希望しているが、利用者が多くサービスが受けられない	周り近所の目が気になる	支給限度額を超える	過去の利用したが対応が悪かった	サービスを提供する事業者がない	必要がない	その他	サービス自体を良く知らない	無回答
要介護度	(%)											
全体(N=2,704)	0.9	19.0	1.3	-	0.3	1.1	0.2	-	75.1	7.1	0.9	5.2
要支援(N=790)	0.8	23.0	1.5	-	-	1.5	0.3	-	76.7	4.1	0.9	4.9
要介護1(N=1,150)	1.0	18.8	1.0	0.1	0.5	0.4	0.2	-	75.8	7.1	1.1	4.9
要介護2(N=379)	0.8	16.1	1.3	-	0.3	1.3	-	-	72.6	10.3	0.8	5.5
要介護3(N=245)	1.2	13.5	1.6	-	0.4	1.6	-	-	71.8	11.0	0.8	6.5
要介護4(N=105)	1.0	18.1	2.9	-	-	3.8	1.0	-	70.5	6.7	-	6.7
要介護5(N=35)	-	8.6	-	-	-	-	-	-	77.1	14.3	-	5.7
無回答(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全体では「必要がない」が75.1%で最も高く、次に「本人が希望していない」が19.0%となっている。

要介護度でみると、要支援が「本人が希望していない」と「必要がない」で最も高い。要介護4に「家族、親戚が反対している」、「支給限度額を超える」の割合が、他の介護度と比べて高い。

家族の状況

	(%)											
全体(N=2,704)	0.9	19.0	1.3	-	0.3	1.1	0.2	-	75.1	7.1	0.9	5.2
本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯(N=281)	1.8	30.2	-	-	-	2.5	0.4	-	55.2	13.5	1.1	5.0
本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯(N=343)	1.7	23.6	2.3	-	-	0.9	0.9	-	71.4	10.5	1.2	3.2
本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯(N=67)	4.5	19.4	1.5	-	-	3.0	-	-	67.2	6.0	3.0	4.5
本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯(N=113)	0.9	25.7	1.8	-	-	-	-	-	69.0	3.5	-	8.8
その他の世帯(N=1,880)	0.5	16.3	1.2	0.1	0.4	1.0	0.1	-	79.6	5.6	0.9	5.2
無回答(N=20)	-	-	5.0	-	5.0	-	-	-	50.0	20.0	-	25.0

「必要がない」はその他の世帯で高い。「本人が希望していない」は本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯、本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯、本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯で高い。本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯に「利用料が高い」と「支給限度額を超える」の割合が、他の家族の状況と比べて高い。

所得段階

	(%)											
全体(N=2,704)	0.9	19.0	1.3	-	0.3	1.1	0.2	-	75.1	7.1	0.9	5.2
第1段階(N=44)	-	20.5	-	-	-	4.5	-	-	52.3	25.0	-	9.1
第2段階(N=793)	1.5	23.1	1.0	0.1	0.1	0.8	0.4	-	67.5	11.1	0.9	4.8
第3段階(N=1,579)	0.6	17.0	1.5	-	0.4	1.1	0.1	-	79.9	4.2	0.9	5.6
第4段階(N=179)	1.1	19.6	0.6	-	-	0.6	-	-	73.7	10.1	1.7	4.5
第5段階(N=109)	-	16.5	1.8	-	0.9	2.8	-	-	72.5	8.3	-	1.8

「必要がない」は第3・4段階で高い。「本人が希望していない」は第1・2・4段階で高い。第1段階と5段階に「支給限度額を超える」の割合が、他の所得段階と比べて高い。

訪問入浴サービスを利用していない理由(複数回答可)

	利用料が高い	本人が希望していない	家族、親戚が反対している	希望しているが、利用者が多くサービスが受けられない	周りに近所の目が気になる	支給限度額を超える	過去の利用したが対応が悪かった	サービスを提供する事業者がない	必要がない	その他	サービス自体を良く知らない	無回答
--	--------	------------	--------------	---------------------------	--------------	-----------	-----------------	-----------------	-------	-----	---------------	-----

要介護度

(%)

全体(N=3,653)	0.3	15.5	0.1	-	0.1	0.2	-	-	80.7	4.3	1.0	7.5
要支援(N=1,098)	0.2	17.9	0.1	-	0.2	0.5	-	-	83.1	1.8	1.5	7.6
要介護1(N=1,572)	0.1	15.4	-	-	-	0.1	-	-	82.6	3.7	0.8	6.9
要介護2(N=480)	1.0	11.9	0.2	-	-	0.2	-	-	77.9	6.9	1.0	7.3
要介護3(N=309)	0.6	14.2	0.3	-	-	0.6	0.3	-	73.8	9.1	0.3	8.4
要介護4(N=138)	-	15.9	1.4	-	-	-	-	-	76.1	5.8	1.4	8.7
要介護5(N=56)	-	8.9	-	-	-	-	-	-	57.1	17.9	-	19.6
無回答(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

調査した5項目の中で最も「必要がない」の割合が高い。全体で80.7%が「必要がない」、15.5%が「本人が希望していない」と回答しており、この2項目で96.2%を占める。

要介護度でみると、要支援が「必要がない」と「本人が希望していない」が最も高い。

家族の状況

(%)

全体(N=3,653)	0.3	15.5	0.1	-	0.1	0.2	-	-	80.7	4.3	1.0	7.5
本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯(N=716)	0.1	18.9	-	-	0.1	0.3	-	-	80.2	4.2	1.1	7.0
本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯(N=575)	0.5	17.6	0.3	-	-	0.2	-	-	83.3	2.6	0.9	5.9
本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯(N=77)	1.3	20.8	1.3	-	-	1.3	-	-	74.0	2.6	2.6	9.1
本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯(N=134)	0.7	19.4	-	-	-	-	-	-	76.9	4.5	1.5	8.2
その他の世帯(N=2,127)	0.2	13.5	0.1	-	-	0.2	-	-	81.0	4.7	0.9	7.9
無回答(N=24)	-	4.2	-	-	-	-	-	-	58.3	20.8	-	20.8

「必要がない」は本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯で高い。「本人が希望していない」はその他の世帯を除く世帯で高い。

所得段階

(%)

全体(N=3,653)	0.3	15.5	0.1	-	0.1	0.2	-	-	80.7	4.3	1.0	7.5
第1段階(N=82)	-	23.2	-	-	-	-	-	-	74.4	12.2	2.4	7.3
第2段階(N=1,293)	0.5	17.9	0.1	-	0.1	0.3	-	-	78.4	5.6	0.9	6.9
第3段階(N=1,858)	0.3	14.0	0.2	-	-	0.2	0.1	-	82.5	3.0	0.9	8.2
第4段階(N=259)	-	13.1	-	-	0.4	-	-	-	81.9	3.9	1.5	6.9
第5段階(N=161)	-	13.0	0.6	-	-	0.6	-	-	80.7	5.6	1.2	5.6

「必要がない」は第3・4段階で高い。「本人が希望していない」は第1・2段階で高い。

訪問看護サービスを利用していない理由(複数回答可)

	利用料が高い	本人が希望していない	家族、親戚が反対している	希望しているが、利用者が多くサービスが受けられない	周り近所の目が気になる	支給限度額を超える	過去の利用したが対応が悪かった	サービスを提供する事業者がない	必要がない	その他	サービス自体を良く知らない	無回答
--	--------	------------	--------------	---------------------------	-------------	-----------	-----------------	-----------------	-------	-----	---------------	-----

要介護度

(%)

全体(N=3,478)	0.6	13.8	0.2	-	-	0.5	0.1	-	79.7	3.8	1.0	8.5
要支援(N=1,077)	0.2	16.5	0.2	-	0.1	0.4	-	-	81.9	1.9	0.9	7.7
要介護1(N=1,504)	0.6	13.9	0.1	0.1	-	0.2	-	-	80.7	3.7	0.7	8.3
要介護2(N=457)	1.1	10.9	-	-	-	0.7	-	-	77.0	5.7	0.7	9.4
要介護3(N=277)	0.7	10.5	0.7	-	-	1.4	0.4	-	73.3	7.2	2.2	9.7
要介護4(N=122)	2.5	9.0	0.8	-	-	1.6	0.8	-	77.9	4.1	4.1	8.2
要介護5(N=41)	-	4.9	-	-	-	-	-	-	63.4	12.2	-	22.0
無回答(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全体で最も高いのは「必要がない」で79.7%、次に「本人が希望していない」が13.8%となっている。要介護度でみると、要支援、要介護1が「必要がない」と「本人が希望していない」がともに高い。要介護4で「利用料が高い」が比較的高い。

家族の状況

(%)

全体(N=3,478)	0.6	13.8	0.2	-	-	0.5	0.1	-	79.7	3.8	1.0	8.5
本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯(N=679)	0.6	17.7	0.1	-	0.1	0.4	-	-	76.6	4.4	0.6	8.5
本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯(N=531)	0.9	15.6	0.4	-	-	-	0.2	-	81.2	2.3	1.3	7.5
本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯(N=74)	-	13.5	1.4	-	-	2.7	-	-	74.3	-	4.1	13.5
本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯(N=124)	0.8	15.3	-	-	-	-	-	-	76.6	2.4	-	9.7
その他の世帯(N=2,047)	0.5	12.1	0.1	-	-	0.5	-	-	80.9	4.1	1.0	8.4
無回答(N=23)	-	-	-	-	-	-	-	-	65.2	13.0	-	21.7

「必要がない」は本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯とその他の世帯で高い。「本人が希望していない」は本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯、本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯、本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯で高い。

所得段階

(%)

全体(N=3,478)	0.6	13.8	0.2	-	-	0.5	0.1	-	79.7	3.8	1.0	8.5
第1段階(N=75)	1.3	20.0	-	-	-	2.7	-	-	72.0	12.0	-	10.7
第2段階(N=1,225)	0.8	15.3	0.1	-	-	0.7	-	-	77.8	5.2	1.1	7.8
第3段階(N=1,786)	0.5	12.7	0.2	0.1	-	0.2	0.1	-	81.6	2.4	1.1	9.0
第4段階(N=245)	-	13.5	-	-	0.4	0.4	0.4	-	78.4	4.1	0.4	7.8
第5段階(N=147)	0.7	11.6	1.4	-	-	0.7	-	-	78.2	4.1	0.7	8.8

「必要がない」は第3段階で高い。「本人が希望していない」は第1・2段階で高い。

通所サービス(デイサービス・デイケア)を利用していない理由(複数回答可)

	利用料が高い	本人が希望していない	家族、親戚が反対している	希望しているが、利用者が多くサービスが受けられない	周り近所の目が気になる	支給限度額を超える	過去の利用したが対応が悪かった	サービスを提供する事業者がない	必要がない	その他	サービス自体を良く知らない	無回答
--	--------	------------	--------------	---------------------------	-------------	-----------	-----------------	-----------------	-------	-----	---------------	-----

要介護度

	(%)											
全体(N=1,415)	1.1	46.5	0.9	0.1	0.5	0.8	1.1	-	36.9	16.7	0.9	5.9
要支援(N=479)	1.0	49.9	1.0	-	0.6	1.5	0.6	-	42.4	11.3	1.3	4.8
要介護1(N=567)	1.6	50.3	1.1	0.4	0.5	-	1.2	-	32.8	16.4	0.7	5.5
要介護2(N=177)	0.6	41.2	-	-	-	1.7	1.7	-	37.3	19.2	0.6	6.2
要介護3(N=106)	-	33.0	1.9	-	0.9	-	1.9	-	33.0	29.2	0.9	8.5
要介護4(N=56)	-	33.9	-	-	-	1.8	-	-	37.5	30.4	1.8	7.1
要介護5(N=30)	-	23.3	-	-	-	-	-	-	36.7	26.7	-	16.7
無回答(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

調査した5項目の中で最も「本人が希望していない」の割合が高い。全体で最も高いのは「本人が希望していない」46.5%、次に「必要がない」が36.9%である。

要介護度でみると、要支援と要介護1が「本人が希望していない」で高い。要支援と要介護2・4で「必要がない」が高くなっている。

家族の状況

	(%)											
全体(N=1,415)	1.1	46.5	0.9	0.1	0.5	0.8	1.1	-	36.9	16.7	0.9	5.9
本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯(N=396)	1.0	52.0	-	0.5	0.5	1.3	1.8	-	34.8	13.4	1.0	4.8
本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯(N=314)	1.3	52.2	1.9	-	1.0	-	0.3	-	36.9	12.4	1.9	5.4
本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯(N=24)	-	45.8	4.2	-	-	-	-	-	58.3	16.7	-	-
本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯(N=48)	2.1	56.3	2.1	-	-	2.1	2.1	-	39.6	12.5	2.1	8.3
その他の世帯(N=622)	1.0	39.7	0.8	-	0.3	0.8	1.0	-	36.7	21.2	0.3	6.9
無回答(N=11)	-	27.3	-	-	-	-	-	-	63.6	27.3	-	-

「本人が希望していない」は本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯、本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯、本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯で高い。「必要がない」は本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯で高い。

所得段階

	(%)											
全体(N=1,415)	1.1	46.5	0.9	0.1	0.5	0.8	1.1	-	36.9	16.7	0.9	5.9
第1段階(N=48)	-	41.7	-	2.1	2.1	2.1	2.1	-	39.6	16.7	2.1	4.2
第2段階(N=612)	1.1	49.8	0.8	0.2	0.7	0.8	1.5	-	33.5	16.8	0.7	5.4
第3段階(N=542)	1.5	43.5	1.5	-	0.2	0.7	0.7	-	39.3	16.8	0.4	7.0
第4段階(N=126)	-	45.2	-	-	-	0.8	0.8	-	31.7	18.3	3.2	6.3
第5段階(N=87)	-	46.0	-	-	1.1	-	-	-	51.7	13.8	2.3	2.3

「本人が希望していない」は第2段階が最も高い。「必要がない」は第1・3・5段階が高い。

短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)を利用していない理由(複数回答可)

	利用料が高い	本人が希望していない	家族、親戚が反対している	希望しているが、利用者が多くサービスが受けられない	周り近所の目が気になる	支給限度額を超える	かかった	過去、利用したが対応が悪かった	サービスを提供する事業者がない	必要がない	その他	サービス自体を良く知らない	無回答
--	--------	------------	--------------	---------------------------	-------------	-----------	------	-----------------	-----------------	-------	-----	---------------	-----

要介護度 (%)

全体(N=3,158)	0.7	26.3	0.4	0.1	0.1	0.9	0.1	-	69.1	4.0	1.3	8.0
要支援(N=1,065)	0.7	26.0	0.2	-	-	1.6	0.1	-	73.5	1.8	1.9	7.6
要介護1(N=1,416)	0.7	25.7	0.4	0.1	0.1	0.4	0.1	-	70.1	3.7	0.9	8.1
要介護2(N=365)	0.8	29.0	0.5	-	0.3	1.4	-	0.3	61.6	7.1	0.8	6.8
要介護3(N=196)	-	28.1	1.5	0.5	0.5	0.5	-	-	58.7	8.7	1.5	9.2
要介護4(N=83)	2.4	22.9	-	-	-	1.2	-	-	57.8	13.3	1.2	9.6
要介護5(N=33)	-	27.3	3.0	3.0	-	-	-	-	57.6	3.0	-	15.2
無回答(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全体で割合が最も高いのは「必要がない」で69.1%、次は「本人が希望していない」で26.3%。

要介護度でみると、要支援が「必要がない」が最も高く、要介護度が高くなるにつれて「必要がない」の割合が低くなっている。「本人が希望していない」が要介護2・3・5で高い。「利用料が高い」が要介護4で高い。

家族の状況 (%)

全体(N=3,158)	0.7	26.3	0.4	0.1	0.1	0.9	0.1	-	69.1	4.0	1.3	8.0
本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯(N=673)	0.1	30.0	0.1	-	-	1.0	0.1	0.1	66.3	4.3	1.6	7.4
本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯(N=528)	0.8	31.6	1.5	0.2	0.2	0.2	-	-	69.3	3.4	2.1	6.1
本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯(N=62)	-	29.0	-	-	-	-	-	-	75.8	1.6	3.2	6.5
本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯(N=112)	1.8	27.7	1.8	-	-	-	-	-	67.0	3.6	0.9	10.7
その他の世帯(N=1,763)	0.9	23.2	0.2	0.1	0.2	1.2	0.1	-	70.2	4.1	0.9	8.5
無回答(N=20)	-	15.0	-	-	-	-	-	-	55.0	15.0	-	25.0

「必要がない」は本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯が最も高い。「本人が希望していない」は本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯で最も高い。

所得段階 (%)

全体(N=3,158)	0.7	26.3	0.4	0.1	0.1	0.9	0.1	-	69.1	4.0	1.3	8.0
第1段階(N=76)	-	38.2	1.3	-	-	-	1.3	-	59.2	10.5	2.6	3.9
第2段階(N=1,153)	0.7	28.6	0.6	-	0.1	0.9	0.1	0.1	66.2	4.9	1.6	8.3
第3段階(N=1,559)	0.9	23.7	0.3	0.2	0.1	1.2	-	-	72.5	2.6	1.0	8.2
第4段階(N=218)	-	28.0	-	-	-	-	-	-	61.9	6.4	1.8	8.7
第5段階(N=152)	-	26.3	0.7	-	0.7	0.7	-	-	72.4	5.3	0.7	3.9

「必要がない」は第3・5段階が高い。「本人が希望していない」は第1段階が最も高く、次いで第2・4段階と続く。

(7)問11 - ケアマネージャーへの意見根拠内容について

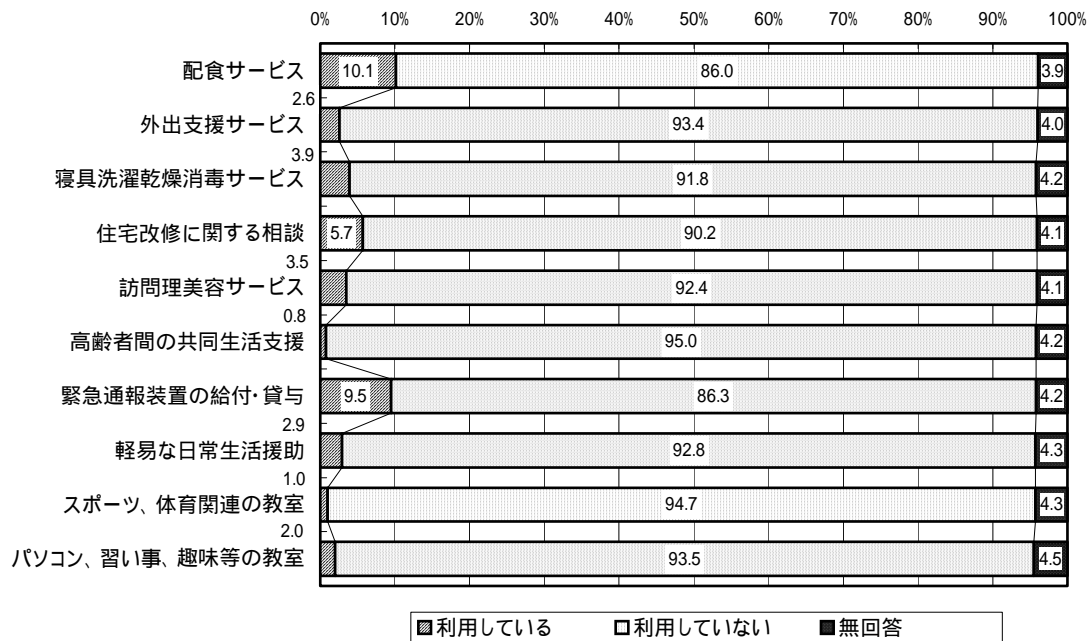
	どのような考えをもとに意見を言っているか(複数回答)							
	利用限度額まで使えるだけ使う	ケアマネージャーがつくるプランに従う	なるべく自分で身の回りのことができるようにしてもらう	家族の言うとおりにしている	介護サービス事業が勧めにき	その他	意見は言っていない	無回答
全体(N=3,813)	13.2	9.2	44.8	21.6	1.4	9.9	10.7	5.6
軽度要介護者(N=2,733)	12.3	9.0	49.9	17.4	1.4	9.9	11.2	4.6
重度要介護者(N=1,080)	15.7	9.6	32.0	32.1	1.4	9.9	9.5	8.2

ケアプラン作成時に、ケアマネージャーに対し、どのような考えをもとに意見を言っているかの質問に対しては、全体では「なるべく自分で身の回りのことができるようにしてもらう」(44.8%)が一番高く、次いで「家族の言うとおりにしている」(21.6%)、「利用限度額まで使えるだけ使う」(13.2%)などとなっている。

軽度要介護者は、「なるべく自分で身の回りのことができるようにしてもらう」割合が高く、重度要介護者は、「家族の言うとおりにしている」割合が高い。「ケアマネージャーがつくるプランに従う」(9.2%)及び「意見は言っていない」(10.7%)で約2割を占めている。

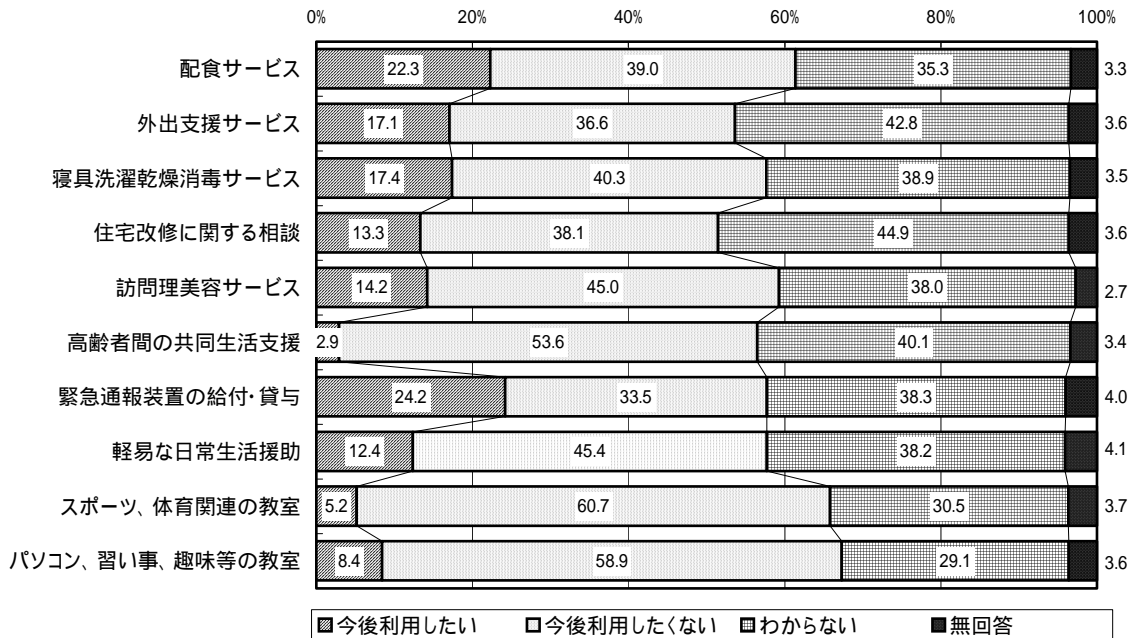
(8)問12 - 介護保険対象外サービスについて

現在の利用状況(N=3,813)



「利用している」は、「配食サービス」の利用が最も高い、次いで「緊急通報装置の給付・貸与」、「住宅改修に関する相談」の順となっている。

今後の利用意向(N=3,015:「本人」が回答分)



「今後利用したい」は、「緊急通報装置の給付・貸与」、「配食サービス」が20%を超えて高い。「寝具洗濯乾燥消毒サービス」、「外出支援サービス」も20%弱の利用意向がある。どのサービスも現在の利用状況に比べて割合が高くなっている。

軽度・重度要介護度/介護保険対象外サービスの利用意向

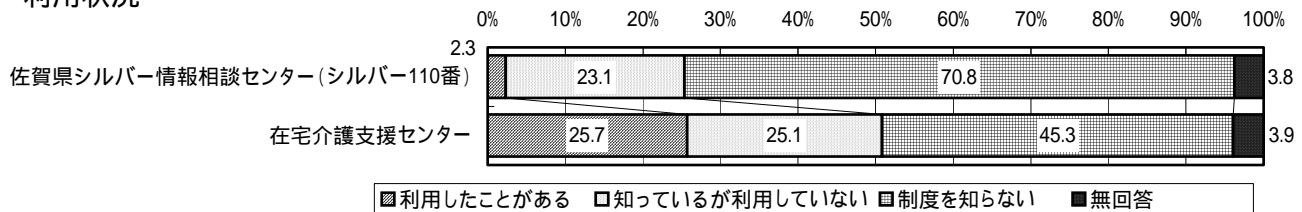
(%)

	配食サービス				住宅改修に関する相談				緊急通報装置の給付・貸与				訪問理美容サービス			
	た 今 い 後 利 用 し	た 今 く 後 な 利 用 し	わ か ら な い	無 回 答	た 今 い 後 利 用 し	た 今 く 後 な 利 用 し	わ か ら な い	無 回 答	た 今 い 後 利 用 し	た 今 く 後 な 利 用 し	わ か ら な い	無 回 答	た 今 い 後 利 用 し	た 今 く 後 な 利 用 し	わ か ら な い	無 回 答
全体(N=3,050)	22.3	39.0	35.3	3.3	13.3	38.1	44.9	3.6	24.2	33.5	38.3	4.0	14.2	45.0	38.0	2.7
軽度要介護者(N=2,474)	23.3	39.1	34.7	2.9	14.1	37.6	45.0	3.3	26.1	33.0	37.3	3.6	13.5	45.7	38.1	2.6
重度要介護者(N=576)	18.1	38.7	38.2	5.0	10.1	40.5	44.3	5.2	16.3	35.4	42.5	5.7	17.2	42.0	37.7	3.1
	高齢者間での共同生活支援				軽易な日常生活援助				パソコン、習い事、趣味等の教室							
	た 今 い 後 利 用 し	た 今 く 後 な 利 用 し	わ か ら な い	無 回 答	た 今 い 後 利 用 し	た 今 く 後 な 利 用 し	わ か ら な い	無 回 答	た 今 い 後 利 用 し	た 今 く 後 な 利 用 し	わ か ら な い	無 回 答				
全体(N=3,050)	2.9	53.6	40.1	3.4	12.4	45.4	38.2	4.1	8.4	58.9	29.1	3.6				
軽度要介護者(N=2,474)	3.3	53.8	39.9	3.0	13.3	45.7	37.2	3.8	9.0	59.7	28.3	3.1				
重度要介護者(N=576)	1.4	52.4	41.3	4.9	8.5	43.9	42.2	5.4	5.9	55.6	33.0	5.6				

利用意向を軽度・重度要介護者で見ると、軽度要介護者は「配食サービス」(23.3%)、「住宅改修に関する相談」(14.1%)、「緊急通報装置の給付・貸与」(26.1%)、「高齢者間での共同生活支援」(3.3%)、「軽易な日常生活援助」(13.3%)、「パソコン、習い事、趣味等の教室」(9.0%)の利用意向が高く、重度要介護者は「訪問理美容サービス」(17.2%)の利用意向が高い。

(9)問13 - 佐賀県シルバー情報相談センター(シルバー110番)と在宅介護支援センターの利用状況と利用意向(N=3,813)

利用状況



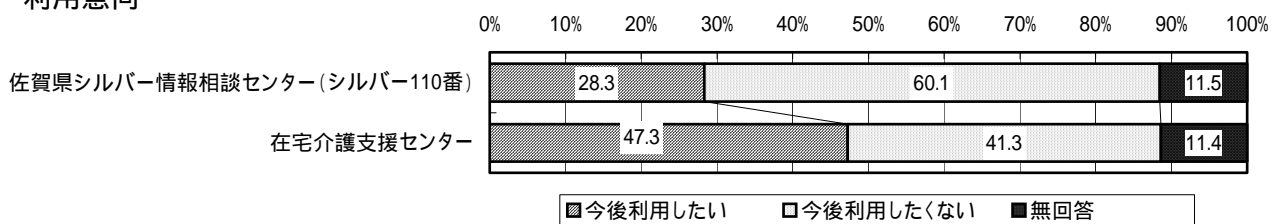
〔利用度〕

佐賀県シルバー情報相談センター(シルバー110番)を「利用したことがある」のは2.3%であり、在宅介護支援センターの利用度はその約11倍の25.7%となっている。

〔認知度〕

佐賀県シルバー情報相談センター(シルバー110番)の「利用したことがある」と「知っているが利用していない」を合わせた認知度は25.4%であるのに対し、在宅介護支援センターの認知度はその2倍の50.8%となっている。

利用意向



佐賀県シルバー情報相談センター(シルバー110番)の利用意向は28.3%、在宅介護支援センターの利用意向は47.3%となっている。

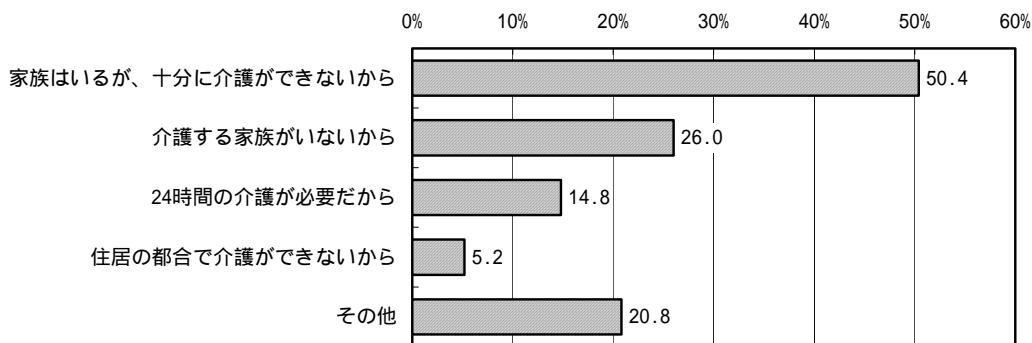
(10) 問14 - 施設入所申込み状況(複数回答)

この設問の無回答者の中には、入所申込みをしていない者を含む。

申込みをしている施設	(人)		
	合計	軽度要介護者	重度要介護者
介護老人福祉施設	186	67	119
介護老人保健施設	22	12	10
有料老人ホーム・ケアハウス	14	12	2
認知症高齢者グループホーム	11	8	3
介護療養型医療施設	2	2	—
その他	8	5	3
無回答	3,578	2,634	944

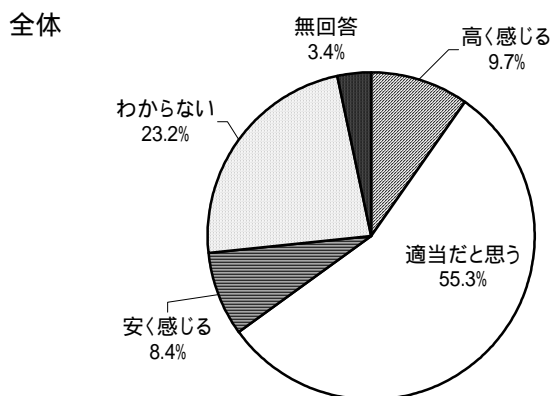
申込みをしている施設は、「介護老人福祉施設」が186人と最も多く、「介護老人保健施設」が22人、「有料老人ホーム・ケアハウス」が14人、「認知症高齢者グループホーム」が11人等の順となっている。軽度・重度要介護者で見ると、「介護老人福祉施設」は重度要介護者(119人)の割合が高い。

(11) 問15 - 施設入所を希望する理由(N=250)(複数回答*回答者総数から無回答数を除いた回答者数)



施設入所を希望する理由としては、「家族はいるが、十分に介護ができないから」が50.4%と最も高く、次いで「介護する家族がないから」が26.0%、「24時間の介護が必要だから」が14.8%などとなっている。

(12) 問16 - 現在のサービス利用料(1割)負担について(N=3,813)

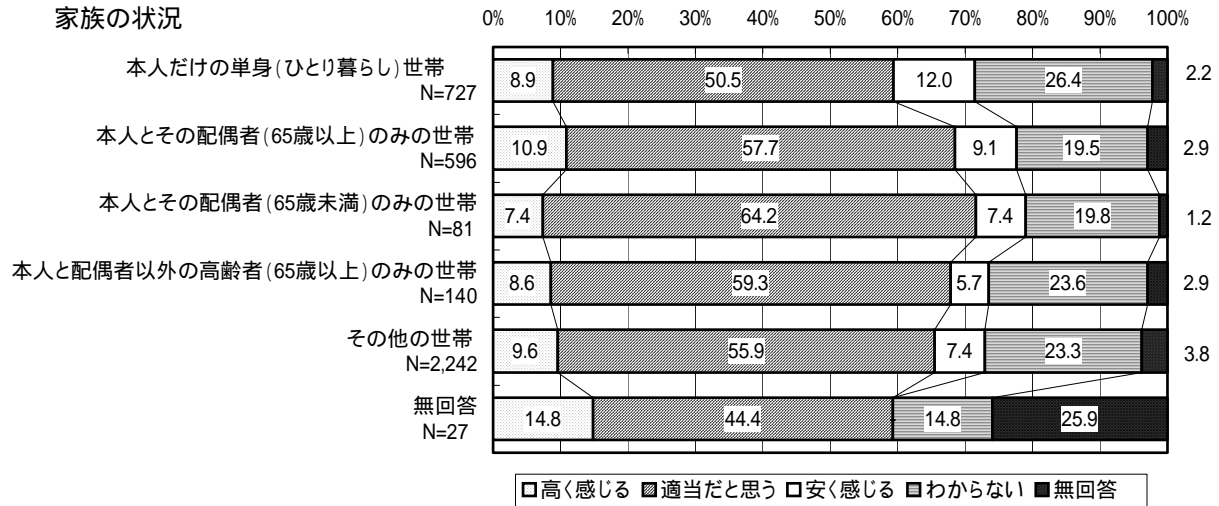


全体では、現在のサービス利用料(1割)負担については、「適当だと思う」が55.3%と最も高く、次いで「わからない」が23.2%、「高く感じる」が9.7%、「安く感じる」8.4%となっている。

前回と比べると、「わからない」の選択肢が加わり、「高く感じる」が10ポイント減っている。

施設入所申込者	(%)				
	高く感じる	う 適 当 だ と 思	安 く 感 じ る	わ か ら な い	無 回 答
全体(N=3,813)	9.7	55.4	8.4	23.2	3.4
施設入所申込者(N=243)	10.7	58.0	8.6	21.0	1.6

施設入所申込みの有無による負担感の差は、ほとんど無い。



家族の状況別では、全部の世帯が「**う
適
当
だ
と
思**」と回答している割合が高い。「**高く感じる**」は本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯が比較的高い。

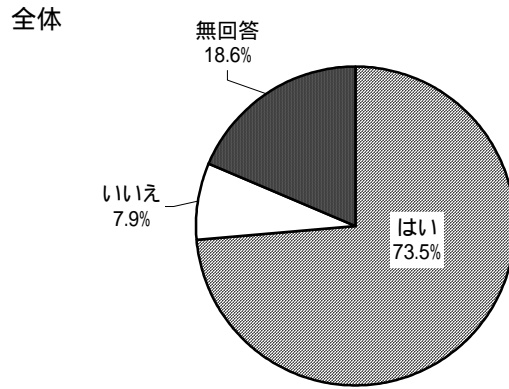
所得段階	(%)				
	高く感じる	う 適 当 だ と 思	安 く 感 じ る	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=3,813)	9.7	55.4	8.4	23.2	3.4
第1段階 (N=83)	2.4	30.1	6.0	53.0	8.4
第2段階 (N=1,341)	11.2	51.2	9.5	25.0	3.1
第3段階 (N=1,947)	9.6	58.1	7.5	21.5	3.3
第4段階 (N=272)	6.3	62.9	8.1	18.4	4.4
第5段階 (N=170)	7.1	57.1	12.4	21.2	2.4

所得段階で1割負担感を見ると、第2段階が「**高く感じる**」割合が高く、第5段階に「**安く感じる**」の割合が比較的高い。

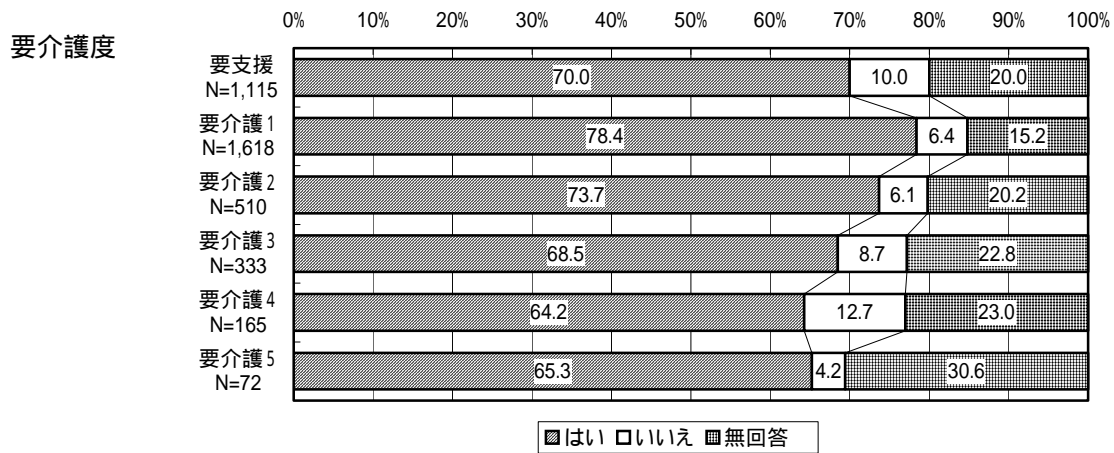
年齢	(%)				
	高く感じる	う 適 当 だ と 思	安 く 感 じ る	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=3,813)	9.7	55.4	8.4	23.2	3.4
65~69歳 (N=156)	14.1	55.1	7.7	21.2	1.9
70~74歳 (N=395)	12.2	57.2	7.3	19.7	3.5
75~79歳 (N=744)	8.9	56.7	8.5	23.9	2.0
80~84歳 (N=1,061)	9.9	54.4	9.6	22.4	3.7
85歳以上 (N=1,457)	8.7	54.9	7.9	24.4	4.0

年齢別に見ると、前期高齢者層が「**高く感じる**」割合が高い傾向である。

(13)問17 - 本人の希望するサービス量が確保されているか(N=3,813)

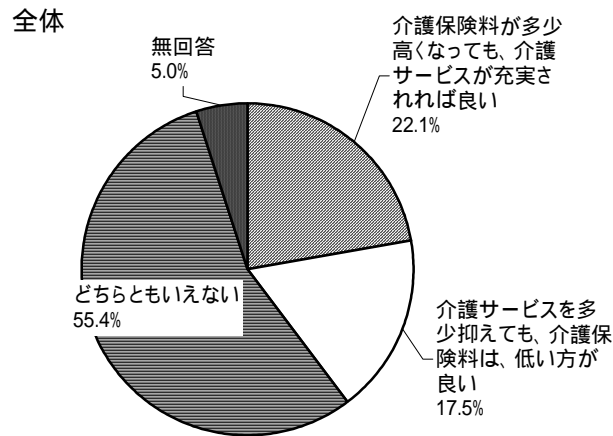


全体では、本人の希望するサービス量が確保されているかは、「はい」が73.5%であり、「いいえ」は7.9%である。

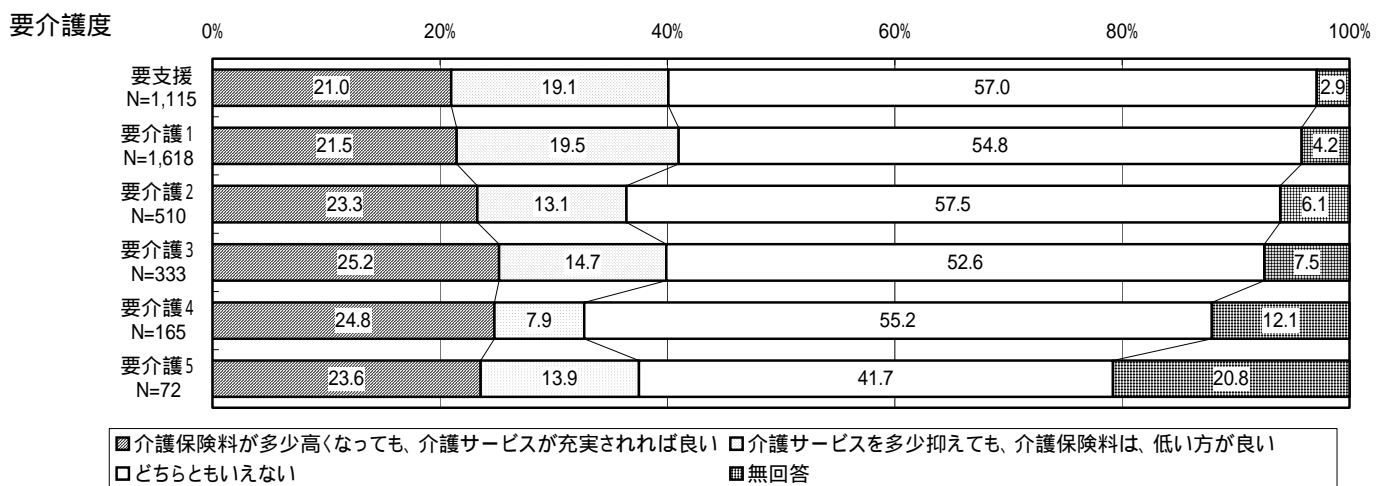


要介護度別では、本人の希望するサービス量が確保されているかは、全介護度において「はい」が6割以上であり、「いいえ」は要支援と介護度4が1割を越えている。

(14)問18 - 介護保険料と介護サービスのあり方 (N=3,813)

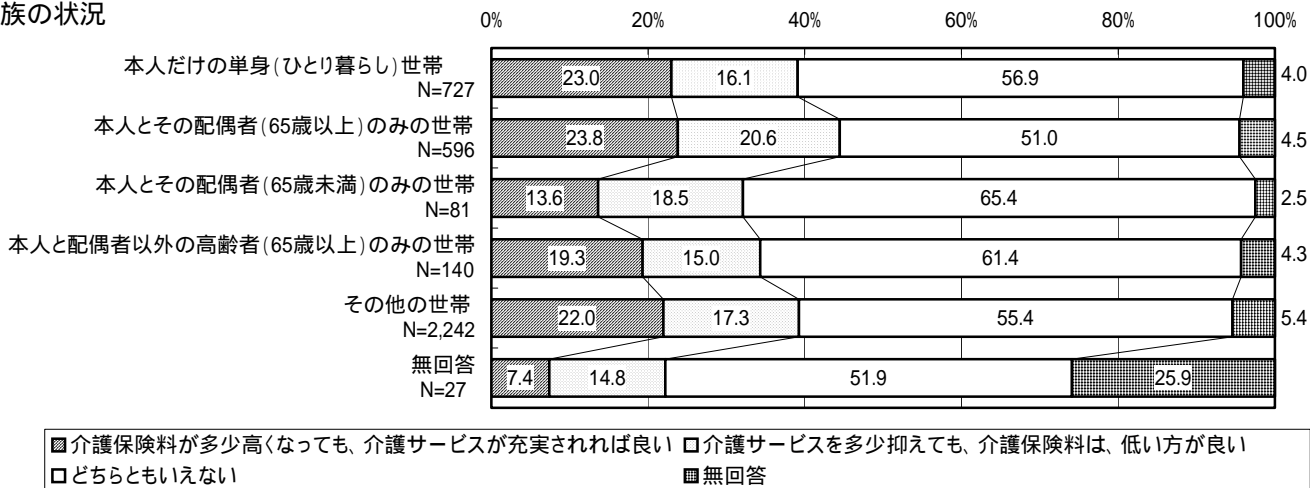


全体では、介護保険料と介護サービスのあり方は、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスが充実されれば良い」が 22.1%、「介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い」が 17.5%であり、「どちらともいえない」が 55.4%となっている。



要介護度別では、要介護3が「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスが充実されれば良い」の割合が最も高い。要支援と要介護1において「介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い」の割合が他の介護度と比べて高くなっている。

家族の状況

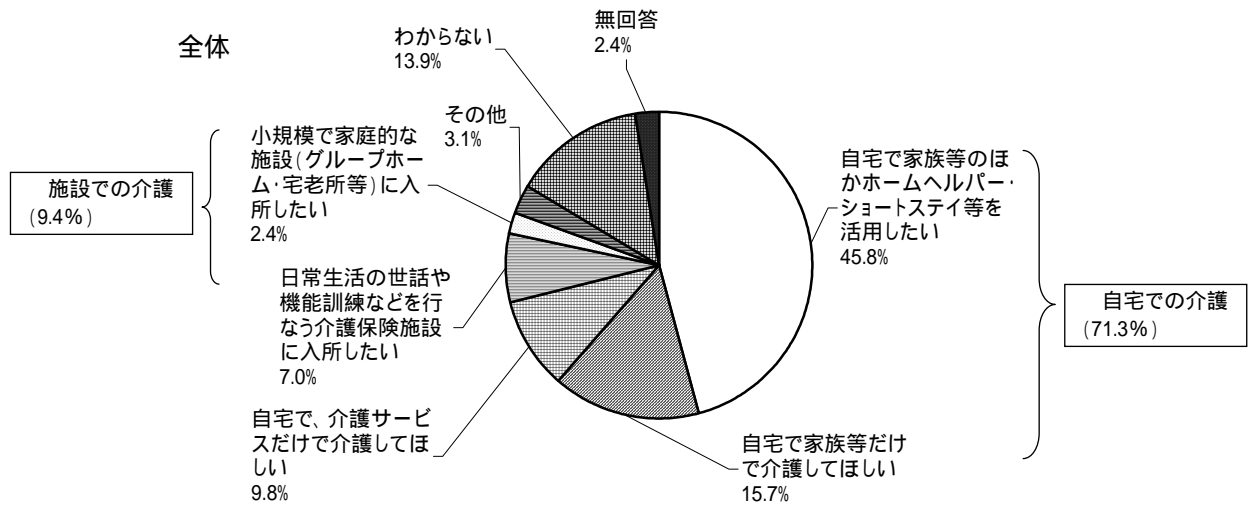


家族の状況別では、本人とその配偶者（65歳以上）のみの世帯が、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスが充実できれば良い」と「介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い」の割合が最も高い。

所得段階	介護保険料が多少高くなっても、介護サービスが充実できれば良い (%)	介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い (%)	どちらともいえない (%)	無回答 (%)
全体 (N=3,813)	22.1	17.5	55.4	5.0
第1段階 (N=83)	7.2	8.4	74.7	9.6
第2段階 (N=1,341)	20.9	19.2	54.9	5.1
第3段階 (N=1,947)	21.2	17.4	56.9	4.6
第4段階 (N=272)	31.6	16.5	45.2	6.6
第5段階 (N=170)	34.7	11.8	48.8	4.7

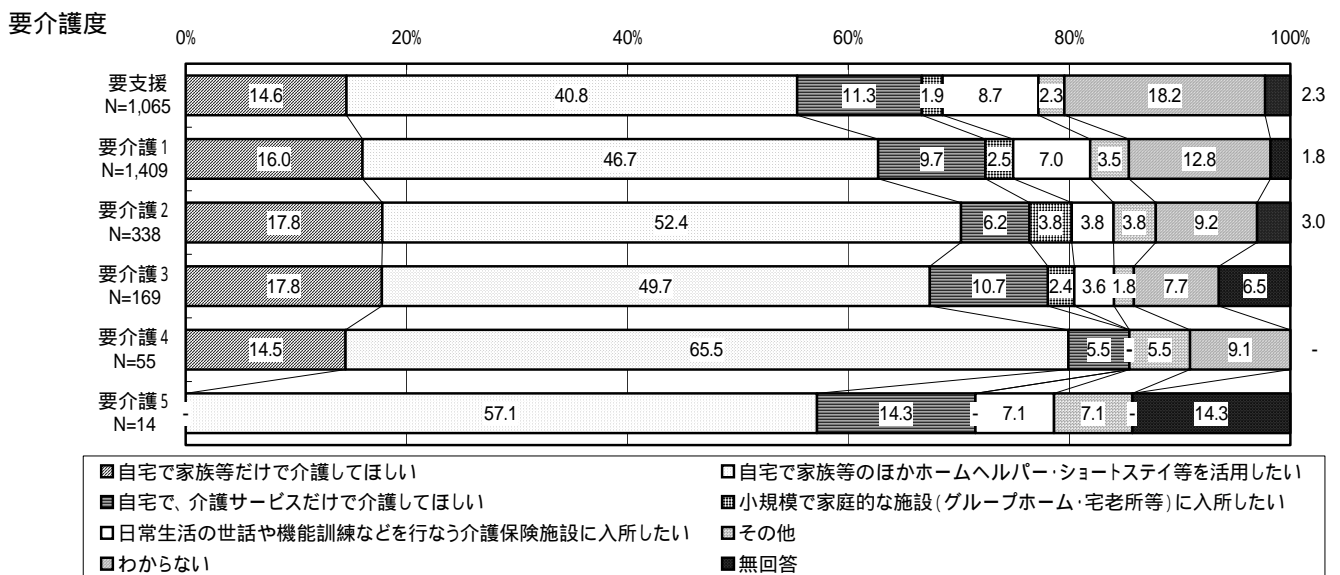
所得段階で見ると、第4・5段階が「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスが充実できれば良い」の割合が高い。第2段階が「介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い」の割合が高い。

(15) 問19 - 今後の介護の希望 (N=3,050)



全体では、今後の介護の希望としては、「自宅に家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」が45.8%と最も高く、次いで「自宅で家族等だけで介護してほしい」15.7%、「自宅で、介護サービスだけで介護してほしい」9.8%などとなっている。「わからない」が13.9%を占めている。

前回と比べると、自宅での介護、施設での介護を受けたい割合は、ほとんど変わらない。

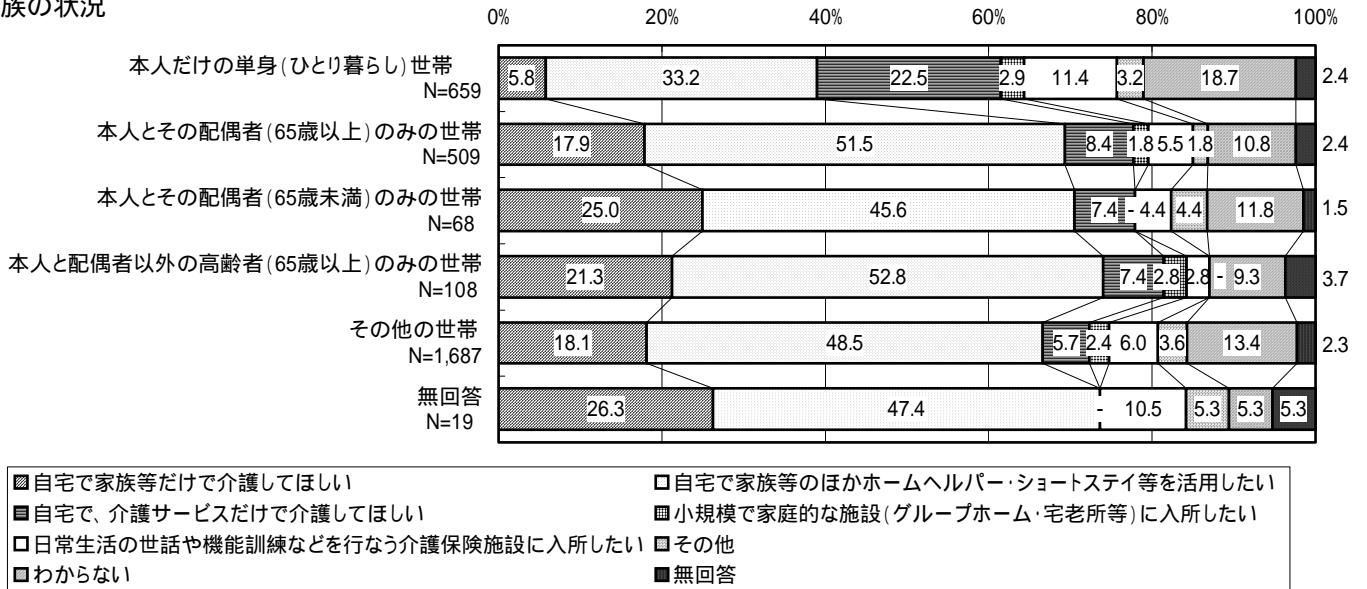


要介護度別では、どの介護度も「自宅に家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」の割合が最も高い。

	自宅で家族等だけで介護してほしい	自宅に家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい	自宅で、介護サービスだけで介護してほしい	日常生活の世話や機能訓練などを行なう介護保険施設に入所したい	小規模で家庭的な施設(グループホーム・宅老所等)に入所したい	その他	わからない	無回答
全体(N=3,050)	15.7	45.8	9.8	7.0	2.4	3.1	13.9	2.4
軽度要介護者(N=2,474)	15.4	44.1	10.3	7.8	2.2	3.0	15.1	2.0
重度要介護者(N=576)	17.0	53.0	7.6	3.5	3.0	3.5	8.5	4.0

軽度・重度要介護者で見ると、軽度要介護者は「自宅で、介護サービスだけで介護してほしい」と「日常生活の世話や機能訓練などを行なう介護保険施設に入所したい」、重度要介護者は「自宅に家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」の割合が高い。

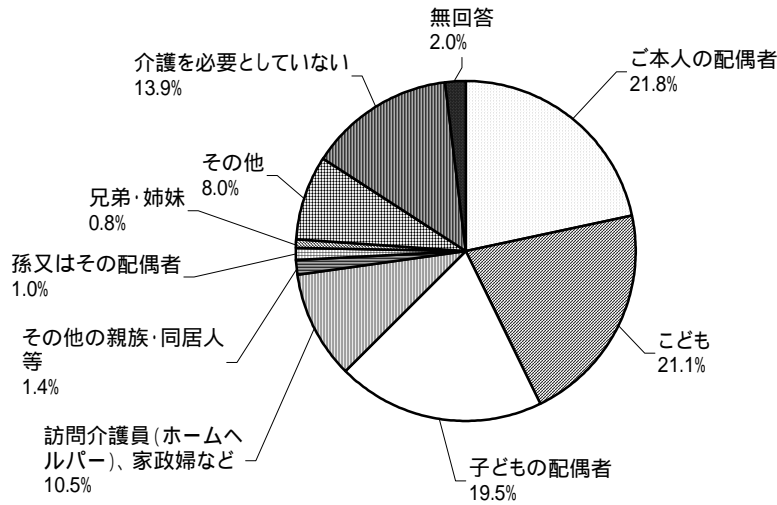
家族の状況



家族の状況別では、ひとり暮らしが「自宅で介護サービスだけで介護してほしい」の割合が比較的高く、ひとり暮らし以外は「自宅で家族等だけで介護してほしい」や「自宅で家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」の割合が高い。

介護者調査

(16)問 20 - 主に介護している人の属性 (N=3,813)

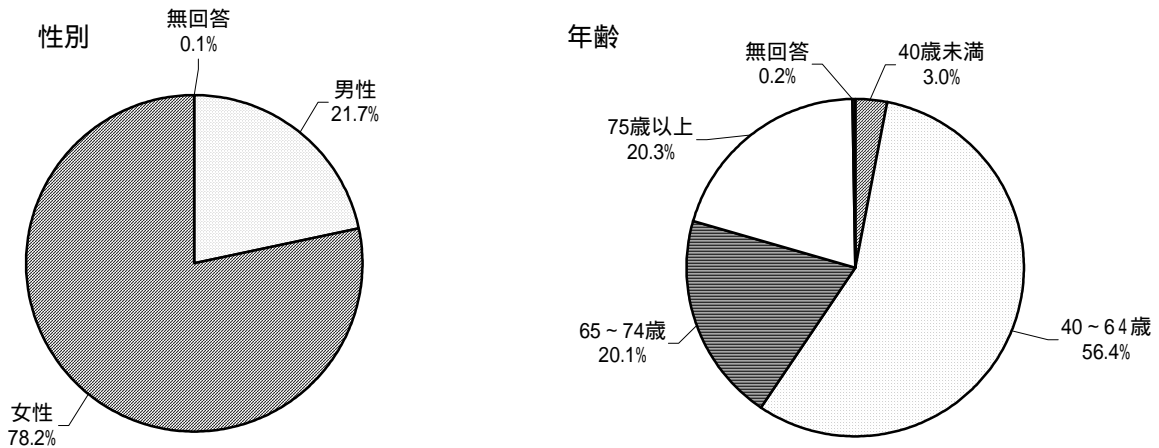


全体では、主に介護しているのは「ご本人の配偶者」が21.8%と最も高く、次いで「こども」21.1%、「子どもの配偶者」19.5%などとなっている。

	ご本人の配偶者	子ども	子どもの配偶者	孫又はその配偶者	兄弟・姉妹	その他の親族・同居人等	訪問介護員(ホームヘルパー)、家政婦など	その他	介護を必要としていない	無回答
全体(N=3,813)	21.8	21.1	19.5	1.0	0.8	1.4	10.5	8.0	13.9	2.0
軽度要介護者(N=2,733)	18.4	18.8	19.3	1.0	0.8	1.2	12.8	6.7	18.7	2.2
重度要介護者(N=1,080)	30.5	26.8	20.1	0.8	0.9	1.9	4.7	11.1	1.8	1.4

軽度・重度要介護者で見ると、軽度要介護者は「訪問介護員(ホームヘルパー)、家政婦など」の割合が相対的に高い。

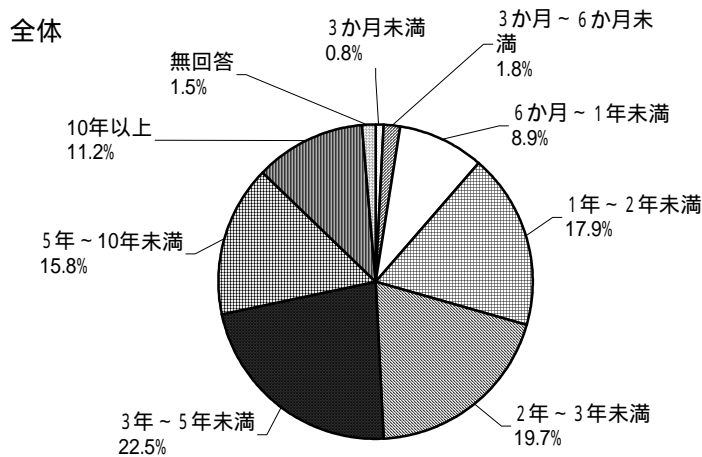
(17) 問21、22 - 主な介護者の状況(N=2,503)



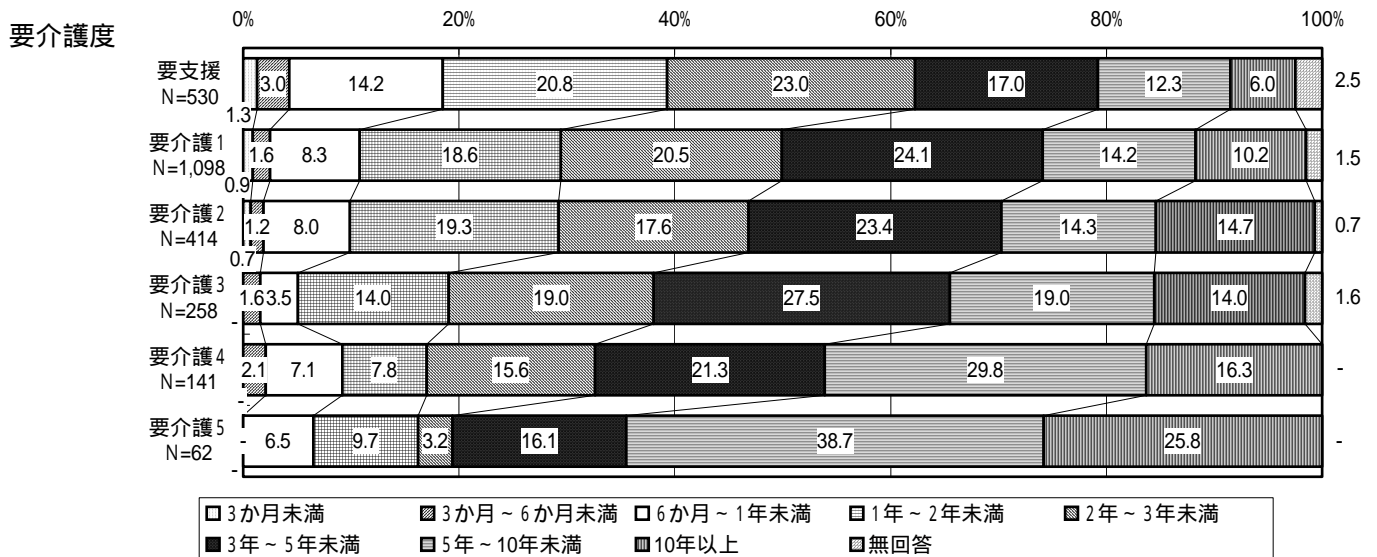
性別では、男性が約2割、女性が約8割である。

年齢別では、全体では「40～64歳」が56.4%で最も高く、次いで「75歳以上」が20.3%、「65～74歳」が20.1%などとなっている。

(18) 問23 - 介護をするようになってからの期間(N=2,503)

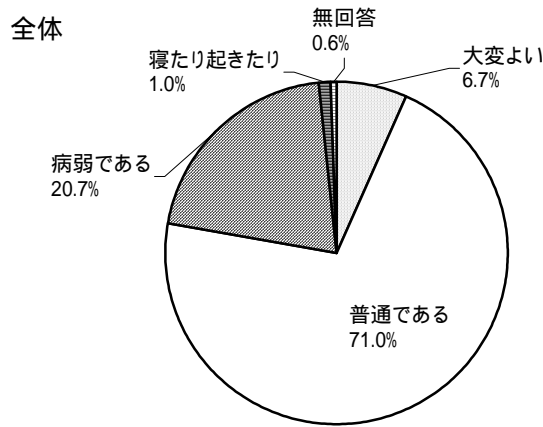


全体では、介護をするようになってからの期間は、「3年～5年未満」が22.5%と最も高く、次いで「2年～3年未満」19.7%、「1年～2年未満」17.9%、「5年～10年未満」15.8%、「10年以上」11.2%と続く。

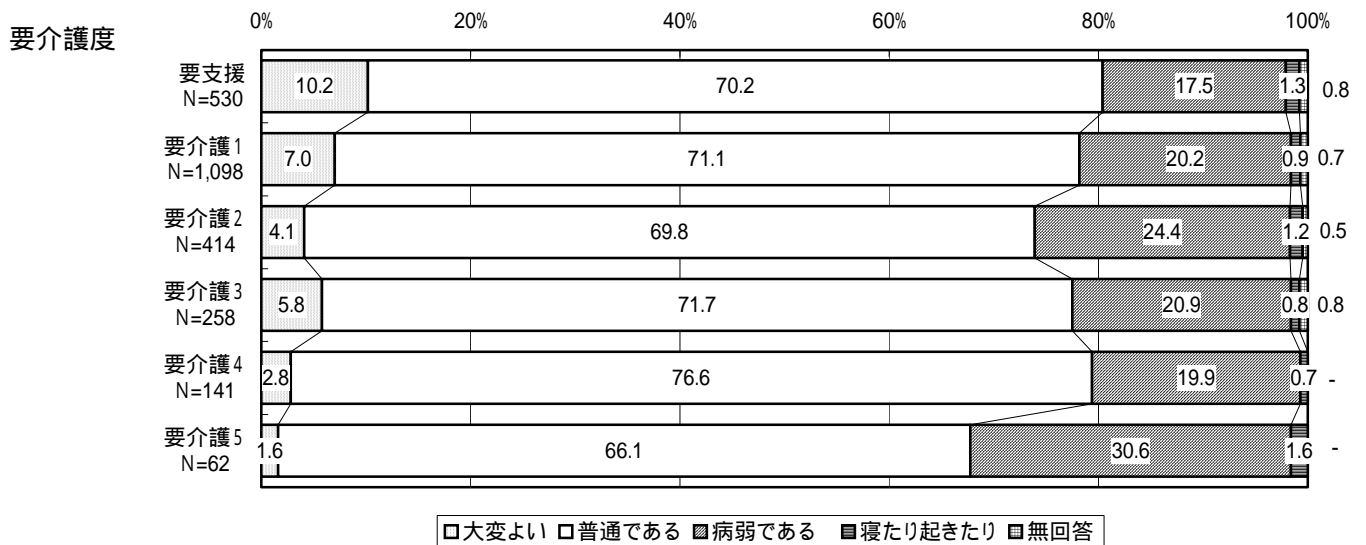


要介護度別では、介護度が上がるにつれて介護期間が長くなっている。要介護5は8割以上が3年以上介護を行っている。

(19)問24 - 主な介護者の健康状態(N=2,503)

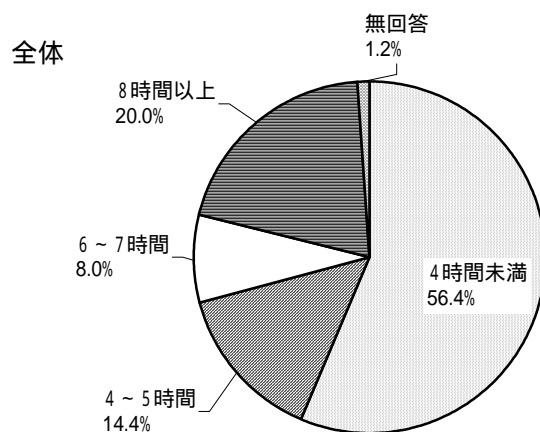


全体では、主な介護者の健康状態は、「普通である」が71.0%と最も高く、次いで「病弱である」が20.7%、「大変よい」が6.7%などとなっている。

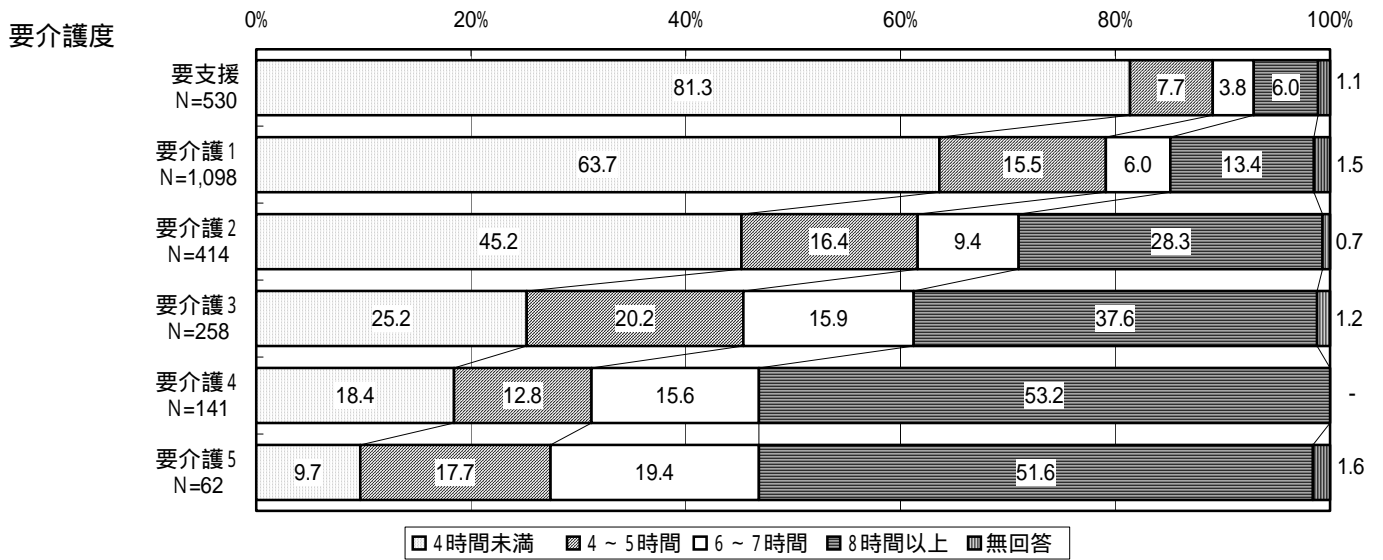


要介護度別では、「大変よい」と「普通である」は要支援の介護者で8割以上、要介護1～4の介護者で7割以上を占める。

(20)問25 - 一日の介護時間(N=2,503)

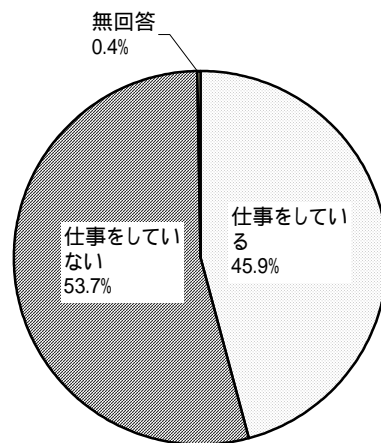


全体では、一日の介護時間は、「4時間未満」が56.4%と最も高く、次いで「8時間以上」が20.0%、「4～5時間」が14.4%、「6～7時間」が8.0%となっている。



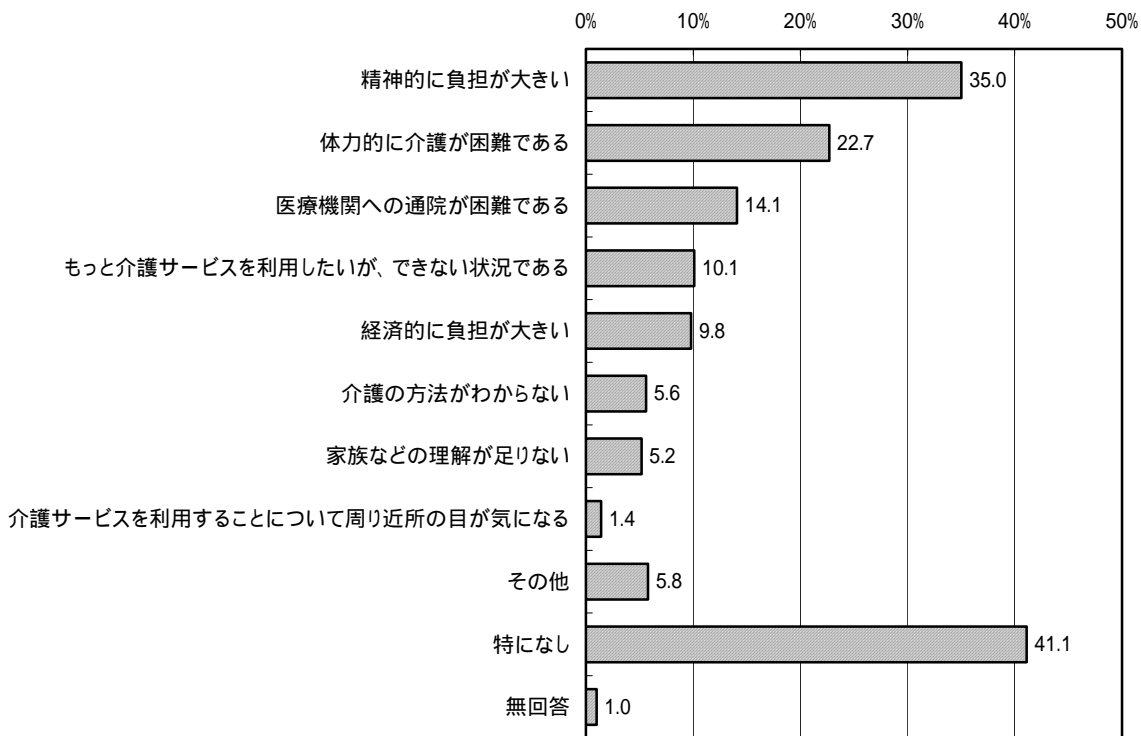
要介護度別では、介護度が高くなるにつれて介護時間が多くなっている。要介護4・5は5割以上が「8時間以上」となっている。

(21)問26 - 主な介護者の就労状況(N=2,503)



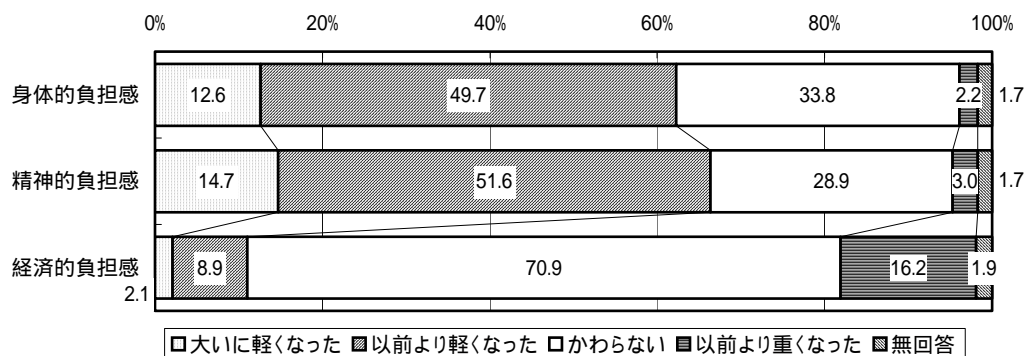
主な介護者の就労状況は、「仕事をしている」が45.9%、「仕事をしていない」が53.7%である。前回と比べて、「仕事をしている」が3.4ポイント減り、「仕事をしていない」が3.4ポイント増えている。

(22) 問27 - 主な介護者が介護を行う上で困っている点 (N=2,503、複数回答)



主な介護者が介護を行う上で困っている点は、「精神的に負担が大きい」が35.0%と最も高く、次いで「体力的に介護が困難である」が22.7%、「医療機関への通院が困難である」が14.1%、「もっと介護サービスを利用したいが、できない状況である」が10.1%などと続いている。

(23) 問28 - 介護保険制度利用による、介護の負担の軽減感について (N=2,503)



介護保険制度を利用し始めての介護による身体的・精神的・経済的負担感は、「以前より軽くなった」のは身体的負担感と精神的負担感で、逆に「以前より重くなった」のは経済的負担感である。

前回と比べると、身体的負担感、精神的負担感、経済的負担感の3つとも「大いに軽くなった」で2倍強、「以前より軽くなった」で2倍弱のポイントが増えている。

軽度・重度要介護度/介護保険制度の利用による負担感

(%)

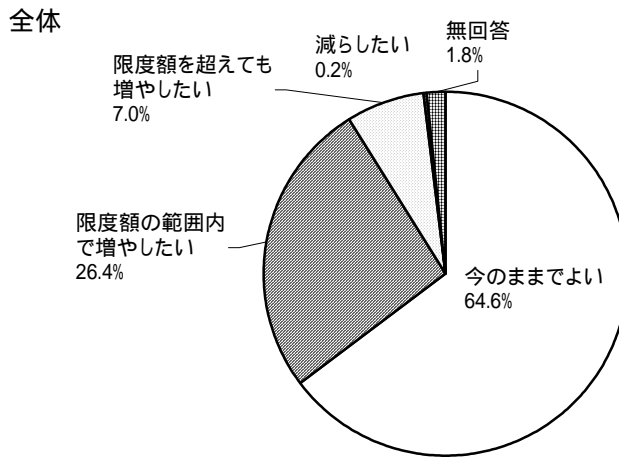
	【身体的に】					【精神的に】				
	な 大 つ い た に 軽 く	く 以 前 つ よ り 軽	か わ ら な い	く 以 前 つ よ り 重	無 回 答	な 大 つ い た に 軽 く	く 以 前 つ よ り 軽	か わ ら な い	く 以 前 つ よ り 重	無 回 答
全体(N=2,503)	12.6	49.7	33.8	2.2	1.7	14.7	51.6	28.9	3.0	1.7
軽度要介護者(N=1,628)	9.0	47.8	39.5	1.5	2.1	12.1	50.7	32.8	2.3	2.1
重度要介護者(N=875)	19.3	53.4	23.2	3.3	0.8	19.7	53.4	21.7	4.3	0.9

	【経済的に】				
	な 大 つ い た に 軽 く	く 以 前 つ よ り 軽	か わ ら な い	く 以 前 つ よ り 重	無 回 答
全体(N=2,503)	2.1	8.9	70.9	16.2	1.9
軽度要介護者(N=1,628)	1.6	8.8	76.0	11.4	2.2
重度要介護者(N=875)	3.0	9.3	61.4	25.1	1.3

軽度・重度要介護者とも身体的・精神的には、「以前より軽くなった」が最も多く、経済的には「かわらない」が最も多い。

軽度・重度要介護者で比較すると、軽度要介護者は、身体的・精神的・経済的負担感について「かわらない」傾向が強く、重度要介護者は3負担感についてそれぞれ「以前より軽くなった」と「以前より重くなった」の傾向が強い。

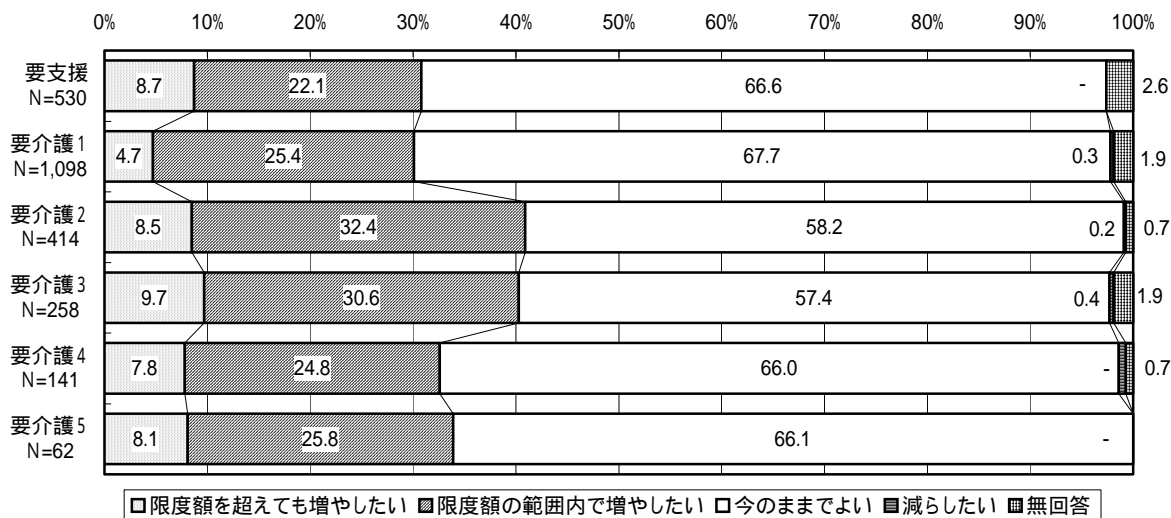
(24)問 29 - 今後の介護保険サービス利用について(N=2,503)



全体では、今後の介護保険サービス利用については、「今のままでよい」が64.6%と最も高く、次いで「限度額の範囲内で増やしたい」が26.4%、「限度額を超えても増やしたい」が7.0%などとなっている。

前回と比べると、「今のままでよい」の割合が5.2ポイント減っており、「限度額の範囲内で増やしたい」が4.1ポイント、「限度額を超えても増やしたい」が2.2ポイント増えている。

要介護度



要介護度別では、要支援、要介護1・4・5の介護度において7割近くが、「今のみままでよい」となっているが、要介護2・3は「限度額の範囲内で増やしたい」、「限度額を超えても増やしたい」双方の割合が高い。

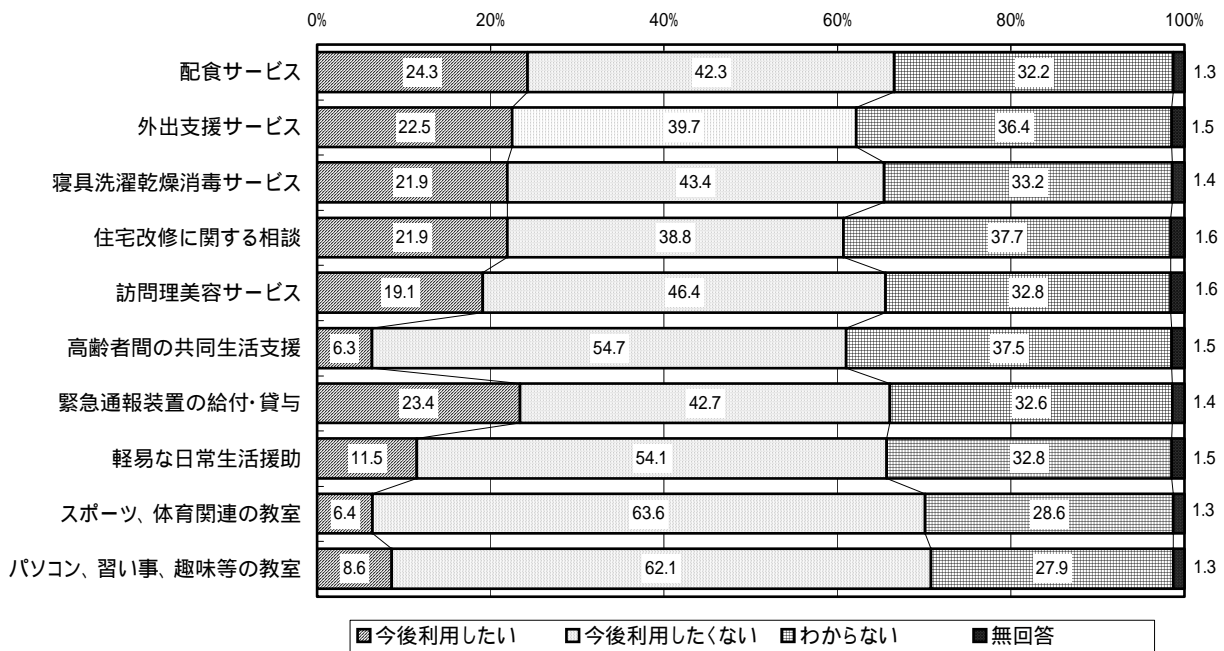
軽度・重度要介護度/今後の介護保険サービス利用につし (%)

	増 や し た を い 超 え て も	で 限 増 や し の た 範 い 圍 以 内	今 の ま ま で よ い	減 ら し た い	無 回 答
全体(N=3,050)	7.0	26.4	64.7	0.2	1.8
軽度要介護者(N=2,474)	6.0	24.3	67.3	0.2	2.1
重度要介護者(N=576)	8.7	30.2	59.8	0.3	1.0

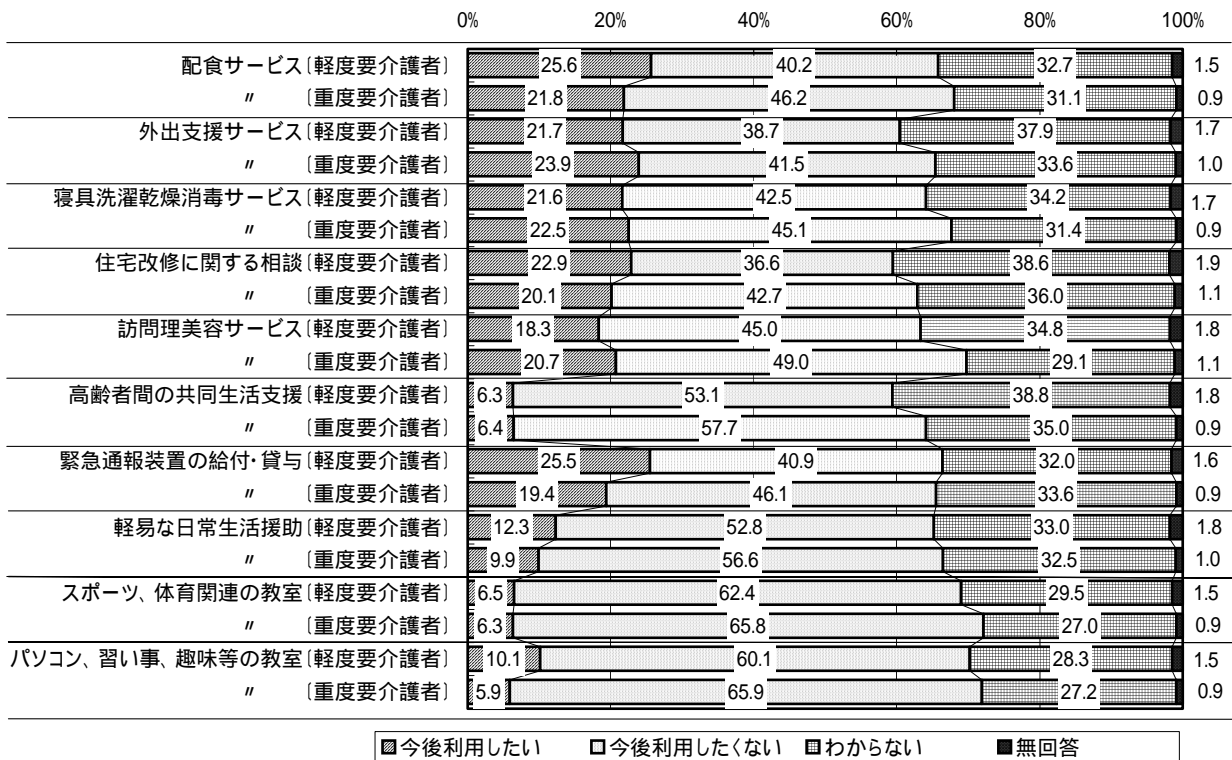
軽度・重度要介護者で見ると、軽度要介護者は「今のみままでよい」の割合が高い。

(25)問 30 - 今後の介護保険対象外サービスについて

今後の利用意向 (全体 (N=2,503))



軽度・重度要介護者別今後の利用意向 (軽度要介護者 (N=1,628)、重度要介護者 (N=875))



全体で見ると、「配食サービス」、「緊急通報装置の給付・貸与」、「外出支援サービス」、「寝具洗濯乾燥消毒サービス」、「住宅改修に関する相談」が20%を超えて利用意向が高い。

19 ページの本人の利用意向と比べると、「緊急通報装置の給付・貸与」と「軽易な日常生活援助」を除いていずれも利用意向度は高い。

利用意向を軽度・重度要介護者で見ると、軽度要介護者の利用意向度が高いのは「配食サービス」「住宅改修に関する相談」、「緊急通報装置の給付・貸与」、「軽易な日常生活援助」、「パソコン、習い事、趣味等の教室」等である。

(26) 問32 - 困った時の相談相手 (N=2,503)

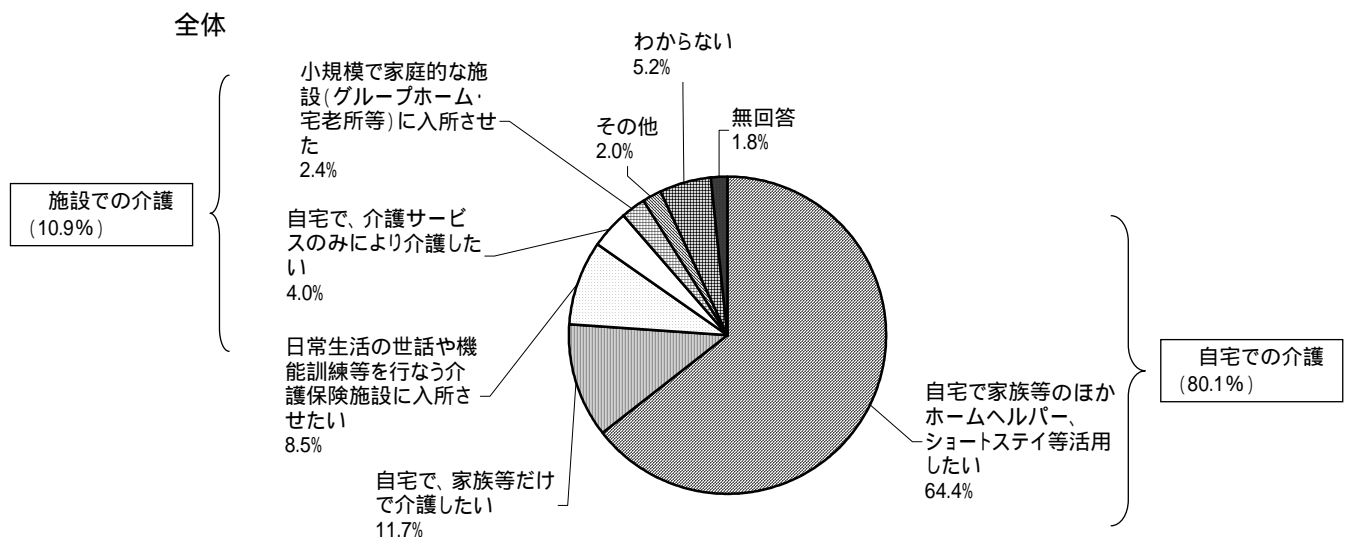
軽度・重度要介護度/困った時の相談相手 (複数回答)

	家族・親族	ケアマネジャー	診療所や病院の医師など	介護保険サービス業者	友人	役所、役場の保健福祉窓口など (保健師以外)	民生委員など	近隣の人など	在宅介護支援センター相談員	特別養護老人ホームなどの福祉施設	薬局、介護用品店	保健師	高齢者総合相談センター (シルバー110番)	その他	相談する相手がいない	無回答
全体(N=2,503)	75.5	74.1	29.6	21.0	14.0	9.2	7.9	7.4	6.8	3.8	3.0	2.6	0.7	2.0	0.5	1.6
軽度要介護者(N=1,628)	77.3	70.4	27.7	17.2	14.4	9.0	8.3	7.9	6.3	2.9	2.5	1.7	0.8	1.8	0.3	2.1
重度要介護者(N=875)	72.3	81.0	33.1	28.1	13.1	9.7	7.2	6.5	7.7	5.4	3.9	4.2	0.5	2.5	0.8	0.6

全体では、「家族・親族」(75.5%)が最も高く、次いで「ケアマネジャー」(74.1%)、「診療所や病院の医師など」(29.6%)、「介護保険サービス業者」(21.0%)等となっている。

軽度・重度要介護者で見ると、重度要介護者の方が介護保険に関係する業者への相談の割合が高い。

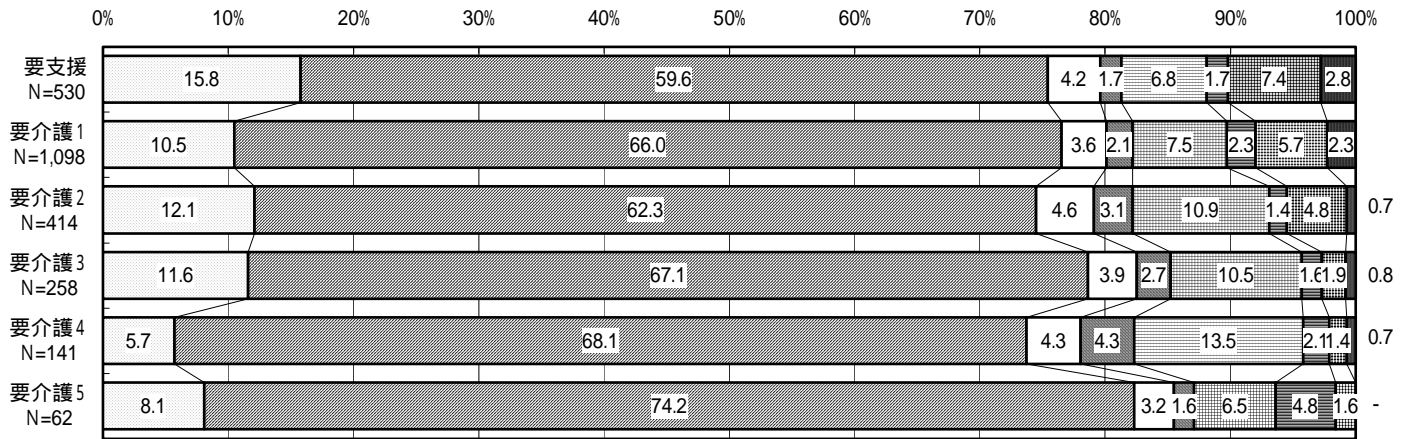
(27) 問33 - 今後の介護の方法 (N=2,503)



全体では、今後の介護の方法としては、「自宅で家族等のほかホームヘルパー、ショートステイ等活用したい」が64.4%と最も高く、次いで「自宅で、家族等だけで介護したい」が11.7%、「日常生活の世話や機能訓練等を行なう介護保険施設に入所させたい」8.5%などと続く。

前回と比べると、「自宅での介護」の傾向が5.6ポイント増えている。

要介護度



- 自宅で家族等だけで介護したい
- 自宅で、介護サービスのみにより介護したい
- 日常生活の世話や機能訓練等を行なう介護保険施設に入所させたい
- わからない
- 自宅で家族等のほかホームヘルパー、ショートステイ等活用したい
- 小規模で家庭的な施設(グループホーム・宅老所等)に入所させたい
- その他
- 無回答

要介護度別で見ると、全介護度で、「自宅で家族等だけで介護したい」と「自宅で家族等のほかホームヘルパー、ショートステイ等活用したい」の割合が、7～8割以上を占めている。

その中で、要支援が「自宅で家族等だけで介護したい」、要介護4が「日常生活の世話や機能訓練等を行なう介護保険施設に入所させたい」、要介護5が「自宅で家族等のほかホームヘルパー、ショートステイ等活用したい」が他の介護度と比べて割合が高い。

軽度・重度要介護度/今後の介護の希望(介護者)

(%)

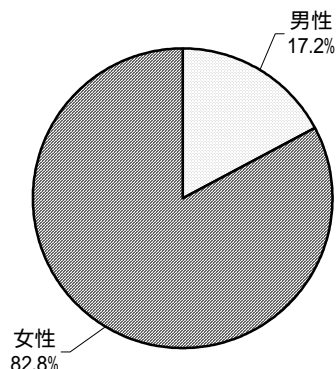
	自宅で家族等だけで	自宅で家族等のほか	自宅で、介護サービス	小規模で家庭的な施設に入	日常生活施設を行なう機	その他	わからない	無回答
全体(N=2,503)	11.7	64.5	4.0	2.4	8.5	2.0	5.2	1.8
軽度要介護者(N=1,628)	12.2	63.9	3.8	2.0	7.2	2.1	6.3	2.5
重度要介護者(N=875)	10.6	65.5	4.2	3.1	10.9	1.8	3.2	0.7

軽度・重度要介護者で見ると、軽度要介護者は「自宅で家族等だけで介護してほしい」の割合が重度要介護者と比べて高く、重度要介護者は「自宅で家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」、「日常生活の世話や機能訓練などを行なう介護保険施設に入所したい」の割合が高い。

3.要援護者(施設入所者)調査結果

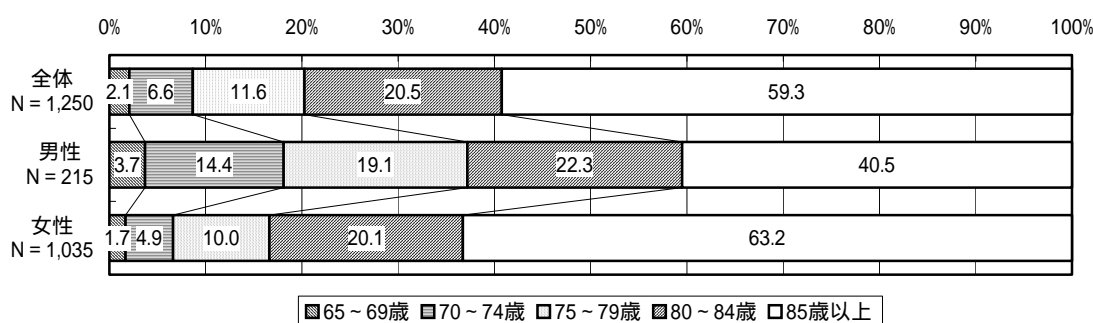
(1)本人の状況(N=1,250)

性



要援護者(施設入所者)の性別構成は、「女性」82.8%に対し、「男性」は17.2%である。

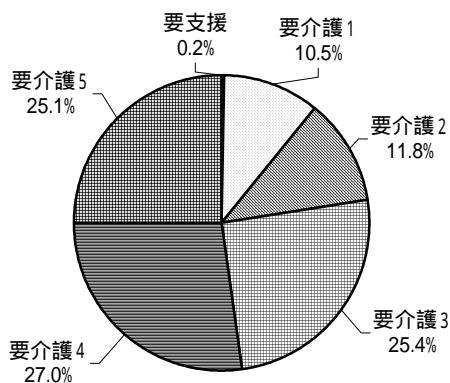
年齢構成



年齢構成は、全体では「85歳以上」が59.3%と最も高く、次いで「80歳~84歳」20.5%、「75~79歳」11.6%、「70~74歳」6.6%と年齢が高いほど割合が高い。

性別では、「女性」の方が「85歳以上」の年齢層の割合が「男性」より20ポイント以上高い。

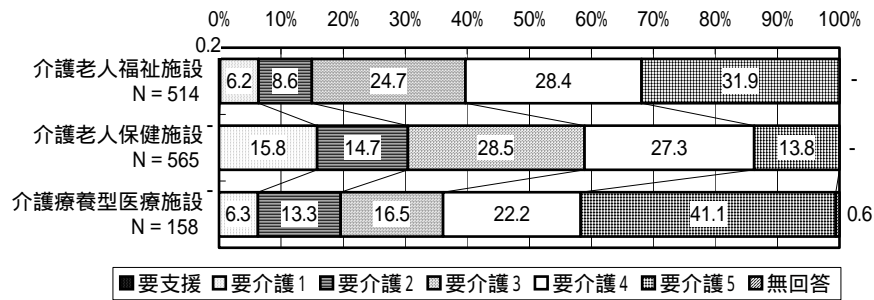
要介護度



「要介護4」が27.0%と最も高く、次いで「要介護3」25.4%、「要介護5」25.1%、「要介護2」11.8%などと続く。

前回と比べて、要支援(0.4ポイント)、要介護1(6.0ポイント)、要介護2(1.0ポイント)の割合が減っている。

施設



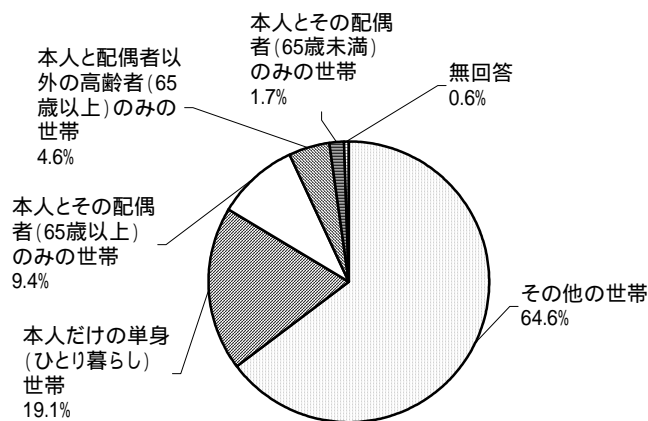
施設別に要介護度をみると、「介護老人福祉施設」は要介護4の割合が他の施設と比べて最も高く、「介護老人保健施設」は要介護1・2・3が最も高く、「介護療養型医療施設」は他の施設と比べて要介護5の割合が最も高い。

所得段階

	合計	社介護老人福祉施設	健介護老人保健施設	医介護療養型医療施設	無回答
合計 (N=1,250)	100.0	41.1	45.2	12.6	1.0
第1段階 (N=59)	100.0	64.4	25.4	8.5	1.7
第2段階 (N=666)	100.0	61.7	28.1	9.2	1.1
第3段階 (N=452)	100.0	10.0	72.3	16.8	0.9
第4段階 (N=52)	100.0	30.8	50.0	19.2	-
第5段階 (N=21)	100.0	19.0	47.6	28.6	4.8

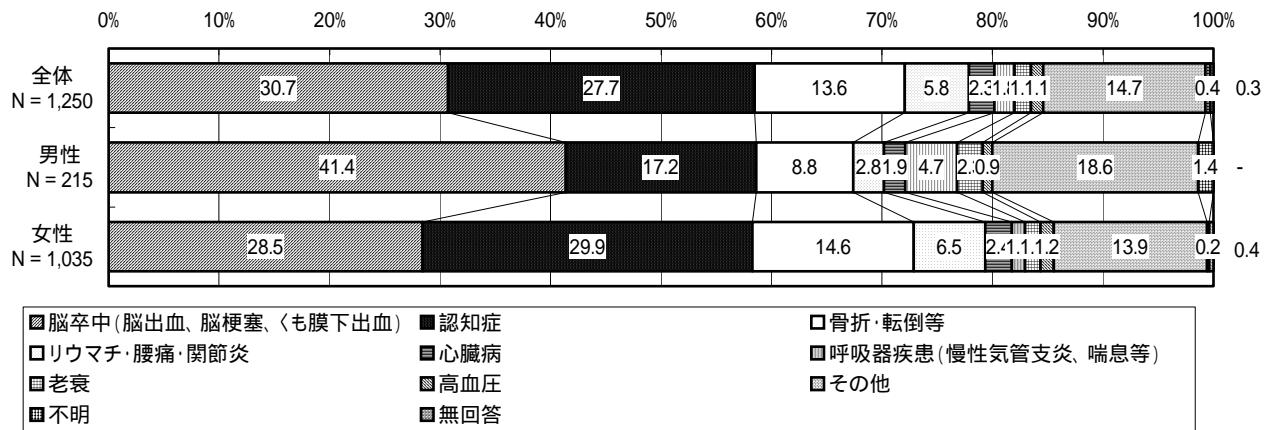
所得階層別では、第1段階と第2段階が「介護老人福祉施設」に、第3段階と第4段階が「介護老人保健施設」に、第5段階が「介護療養型医療施設」に占める割合が高い。

(2) 問1 - 家族の状況 (N=1,250)



入所する前の家族の状況は、「その他の世帯」が64.6%と最も高く、次いで「本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯」が19.1%、「本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯」が9.4%などとなっている。

(3) 問3 - 施設入所が必要になった主な原因 (N=1,250)



全体では、施設入所が必要になった主な原因は、「脳卒中（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）」が 30.7%と最も高く、次いで「認知症」が 27.7%、「骨折・転倒等」が 13.6%などとなっている。

在宅の介護原因の上位が「リウマチ・腰痛・関節炎」、「脳卒中」、「骨折・転倒等」、「認知症」であるのに対し、施設入所の原因の上位に「認知症」が選択されている。

性別では、男性が「脳卒中」、女性が「認知症」、「転倒・骨折等」の割合がそれぞれと比べて高い。前回と比べると、「認知症」が新たな選択項目に入り、上位第 2 位に選択されている。

	介護が必要な状態になった主な原因										
	脳卒中(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)	認知症	骨折・転倒等	リウマチ・腰痛・関節炎	心臓病	呼吸器疾患(慢性気管支炎、ぜんそく等)	老衰	高血圧	その他	不明	無回答
全体(N=1,205)	30.7	27.7	13.6	5.8	2.3	1.8	1.5	1.1	14.7	0.4	0.3
軽度要介護者(N=133)	24.8	14.3	16.5	12.0	3.8	6.0	0.8	3.0	18.0	0.8	-
重度要介護者(N=1,117)	31.4	29.3	13.2	5.1	2.1	1.3	1.6	0.9	14.3	0.4	0.4

軽度要介護者〔要支援と要介護 1〕と重度要介護者〔要介護 2・3・4・5〕の分類で見ると、軽度要介護者は「骨折・転倒等」、「リウマチ・腰痛・関節炎」、「呼吸器疾患（慢性気管支炎・ぜんそく等）」の割合が相対的に高く、重度要介護者は「脳卒中（脳出血、脳梗塞・くも膜下出血）」、「認知症」の割合が高い。

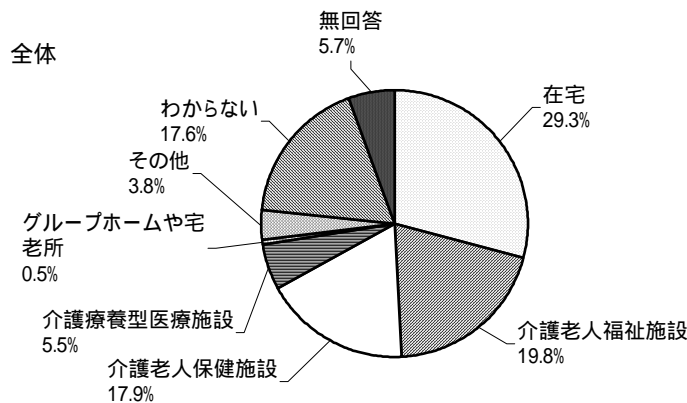
(4) 問6 - 施設入所の希望要因 (N=1,250)

入所する前の 家族構成	(%)					
	住居の都合で介護ができないから	介護する家族がいないから	家族はいるが、十分に介護できないから	24時間の介護が必要だから	その他	無回答
全体 (N=1,250)	5.4	24.9	65.1	32.0	10.5	0.7
本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯 (N=239)	7.1	77.0	16.7	22.6	5.4	0.4
本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯 (N=118)	7.6	25.4	66.1	34.7	13.6	0.8
本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯 (N=21)	19.0	28.6	71.4	28.6	9.5	-
本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯 (N=57)	7.0	14.0	82.5	24.6	8.8	-
その他の世帯 (N=807)	4.2	10.2	77.9	34.8	11.6	0.7
無回答 (N=8)	-	12.5	62.5	50.0	12.5	12.5

全体では、「家族はいるが、十分に介護ができないから」が65.1%で最も高い。次いで「24時間の介護が必要だから」が32.0%、「介護する家族がいないから」が24.9%と続く。

入所する前の家族の構成別では、ひとり暮らし世帯は「介護する家族がいないから」、本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯は「家族はいるが、十分に介護ができないから」と「24時間の介護が必要だから」、本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯は「住居の都合で介護ができないから」、本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯とその他の世帯が「家族はいるが、十分に介護ができないから」の理由が多い。

(5) 問9 - 今後介護を受けたい場所 (N=420)



全体では、今後介護を受けたい場所は、「在宅」が29.3%と最も高く、次いで「介護老人福祉施設」が19.8%、「介護老人保健施設」が17.9%、「介護療養型医療施設」が5.5%などとなっている。

前回と比べると、「在宅」が7.2ポイント増え、前回第3位が第1位となっている。

軽度・重度要介護度/本人の希望として今後介護を受けたいところ (%)

	本人の希望として今後介護を受けたいところ (%)							
	在宅	施設介護老人福祉	施設介護老人保健	介護療養型医療施設	グループホームや老老所	その他	わからない	無回答
全体 (N=420)	29.3	19.8	17.9	5.5	0.5	3.8	17.6	5.7
軽度要介護者 (N=118)	34.7	17.8	20.3	4.2	0.8	3.4	12.7	5.9
重度要介護者 (N=302)	27.2	20.5	16.9	6.0	0.3	4.0	19.5	5.6

軽度・重度介護度別で見ると、軽度要介護者が「在宅」、「介護老人保健施設」の割合が高い。

(%)

現在の入所施設

	合計	在宅	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	グループホームや在宅	その他	わからない	無回答
合計(N=420)	100.0	29.3	19.8	17.9	5.5	0.5	3.8	17.6	5.7
介護老人福祉施設(N=149)	100.0	12.8	50.3	3.4	-	-	7.4	16.8	9.4
介護老人保健施設(N=203)	100.0	37.4	3.4	34.0	0.5	1.0	1.5	20.2	2.0
介護療養型医療施設(N=65)	100.0	38.5	1.5	1.5	33.8	-	3.1	12.3	9.2
無回答(N=3)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-

入所施設別で見ると、今後介護を受けたい場所は、現在入所している施設と同じ傾向にある。「介護老人保健施設」と「介護療養型医療施設」では「在宅」希望が多い。

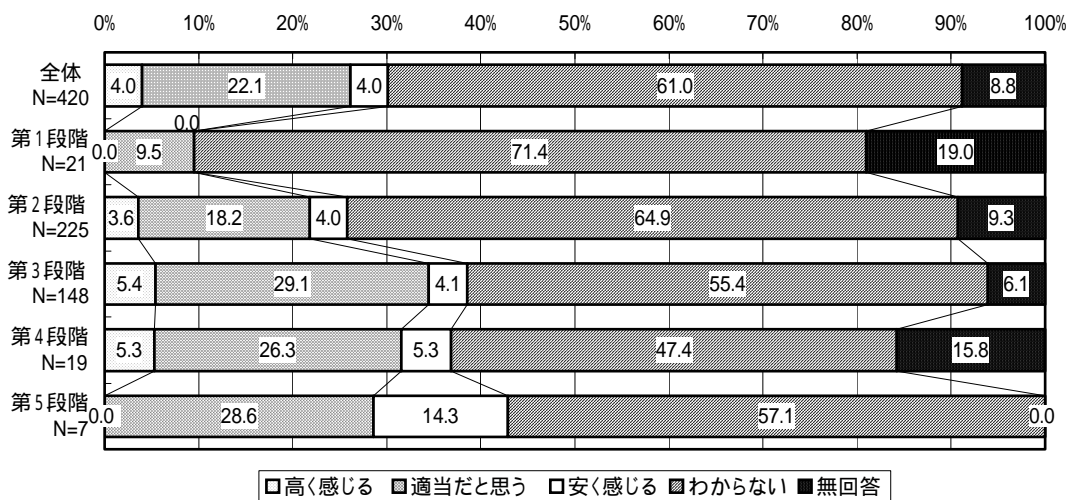
(6) 問10 - 入所を申込んでいる施設(複数回答)

この設問の無回答者の中には、入所申込みをしていない者を含む

	(人)
介護老人福祉施設	137
介護老人保健施設	7
認知症高齢者グループホーム	5
有料老人ホーム・ケアハウス	1
介護療養型医療施設	0
その他	4
無回答	1,097

入所を申込んでいる施設は、「介護老人福祉施設」が137人と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が7人、「認知症高齢者グループホーム」が5人などとなっている。

(7) 問11 - 利用料(1割)負担について(N=420)

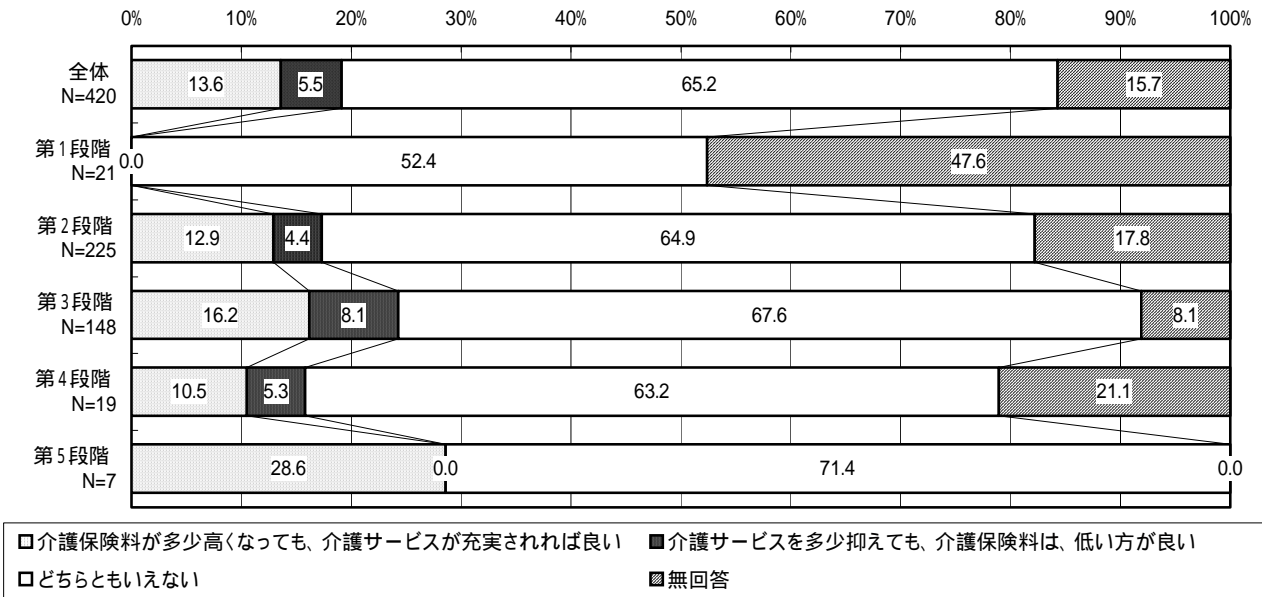


全体では、「わからない」が61.0%と最も高く、次いで「適切だと思う」が22.1%、「高く感じる」と「安く感じる」が同率で4.0%となっている。

所得段階別では、第1段階は「わからない」の割合が最も高く、「高く感じる」と「安く感じる」の回答が無く「適切だと思う」の回答しかない。第3段階から第5段階が「適切だと思う」の割合が高い。「高く感じる」割合が高いのは第3段階と4段階である。逆に「安く感じる」割合が高いのは第5段階である。

前回と比べると、「わからない」が新たな選択項目に入り、「適切だと思う」が14ポイント近く減っている。

(8) 問12 - 介護保険料と介護サービスのあり方について (N=420)



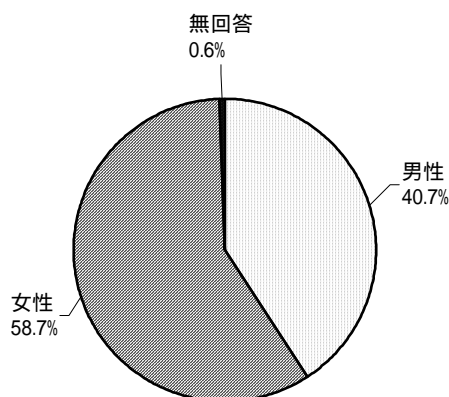
全体では、「どちらともいえない」が65.2%と最も高く、次いで「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスが充実できれば良い」13.6%、「介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い」5.5%となっている。

所得段階別では、第5段階が「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスが充実できれば良い」割合が最も高く、第3段階が「介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い」割合が最も高い。

4.一般高齢者調査結果

(1)問1 - 本人の状況(N=5,386)

性



一般高齢者の性別構成は、「女性」58.7%に対し、「男性」は40.7%である。

	男性	女性	無回答
全体(N=5,386)	40.7	58.7	0.6
大変健康(N=574)	46.2	53.3	0.5
普通に生活(N=4,790)	40.0	59.4	0.6

日常生活の様子から見ると、「男性」に大変健康の割合が高い。

一般高齢者(N=5,386)の日常生活の様子(6区分)を次の4区分にして分析を試みた。

4区分

「大変健康」10.7%(N=574)

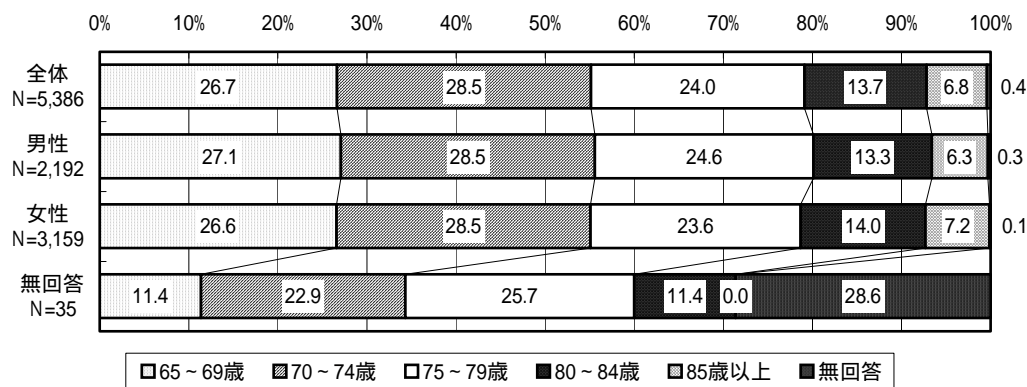
「普通に生活、又は病気や障害はあるが家での生活は自分で行える」88.9%(N=4,790)

「病気等があり家でも手助けが必要で、日中はベッドの上の生活が大半」0.1%(N=5)

「病気等があり介助が必要で、一日中ベッドの上で過ごしている」(N=1)

しかし、実質的には「**大変健康**」と「**普通に生活、又は病気や障害はあるが家での生活は自分で行える**」での対比分析となった。なお、文中「普通に生活、又は病気や障害はあるが家での生活は自分で行える」を「**普通に生活**」としている。

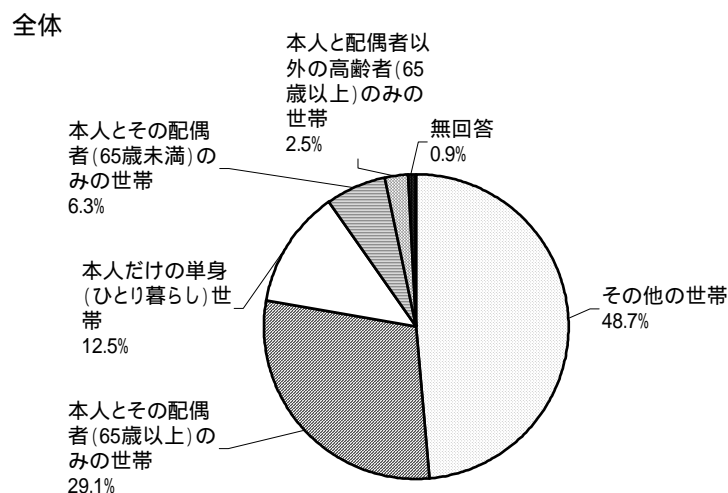
年齢構成



年齢構成は、全体では「70～74歳」が28.5%と最も高く、次いで「65歳～69歳」26.7%、「75～79歳」24.0%、「80～84歳」13.7%となっている。

性別では、「女性」の方が「男性」より「後期高齢者」の割合が若干高い。

(2) 問3 - 家族の状況 (N=5,386)

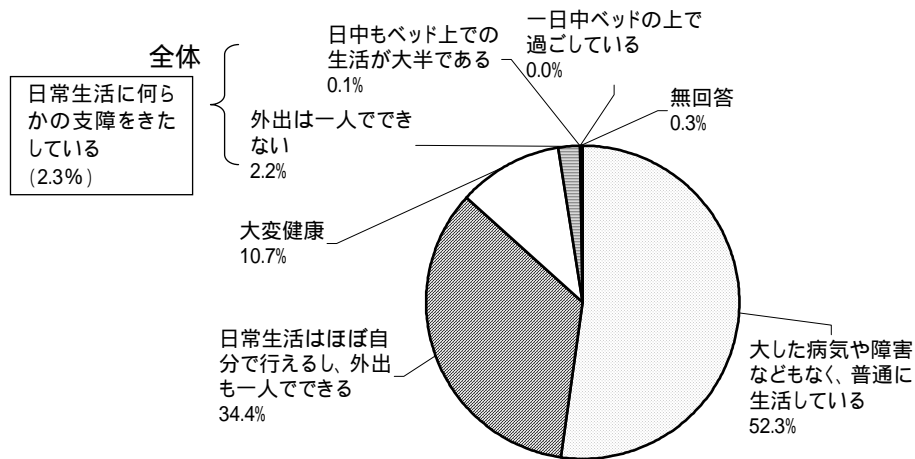


家族の状況は、全体では「その他の世帯」が48.7%と最も多く、次いで「本人と配偶者(65歳以上)のみの世帯」が29.1%、「本人だけの単身(ひとり暮らし)世帯」が12.5%などとなっている。

	日常生活の様子(4区分の2)/家族の状況 (%)					
	世帯(ひとり暮らし)単	世帯(65歳未満)のみの世帯	世帯(65歳以上)のみの世帯	世帯(65歳以上)のみの世帯	世帯(65歳以上)のみの世帯	無回答
全体(N=5,386)	12.5	29.1	6.3	2.5	48.7	0.9
大変健康(N=574)	10.6	28.6	9.6	2.6	47.7	0.9
普通に生活(N=4,790)	12.7	29.2	5.9	2.5	48.8	0.9

日常生活の様子から見ると、「本人と配偶者(65歳未満)のみの世帯」に大変健康の割合が高い。

(3) 問7 - 日常生活の様子 (N=5,386)



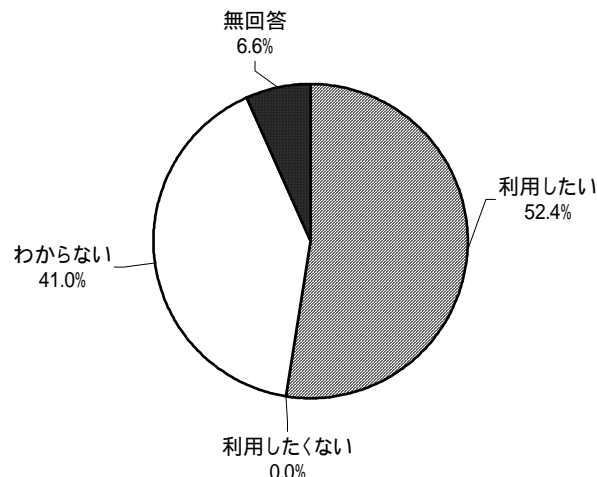
日常生活の様子は、全体では「大した病気や障害などもなく、普通に生活している」が 52.3% で最も多く、次いで「日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人できる」が 34.4%、「大変健康」が 10.7% であり、「外出は一人できない」などの日常生活に何らかの支障をきたす割合は 2.3% となっている。

年齢別	大変健康	活ど大した病もしてなく、いく、気や普通障害に害を生	一で日人行常生活はできるし、外出も自分	い外出は一人できない	生日活中も大半でベッド上での	過一日中ベッドの上で	無回答
合計 (N=5,386)	10.7	52.3	34.4	2.2	0.1	-	0.3
65~69歳 (N=1,436)	16.5	57.0	25.5	0.8	-	-	0.2
70~74歳 (N=1,533)	10.7	54.6	33.3	1.2	0.1	-	0.1
75~79歳 (N=1,295)	8.4	49.3	40.1	2.0	-	-	0.2
80~84歳 (N=737)	6.5	46.8	41.0	5.0	0.3	-	0.4
85歳以上 (N=366)	3.8	46.7	41.3	6.3	0.5	0.3	1.1
無回答 (N=19)	10.5	42.1	36.8	-	-	-	10.5

「外出は一人できない」は、80歳以上に高くなっている。

(4) 問7-1 - 今後の介護保険サービスの利用意向 (N=122)

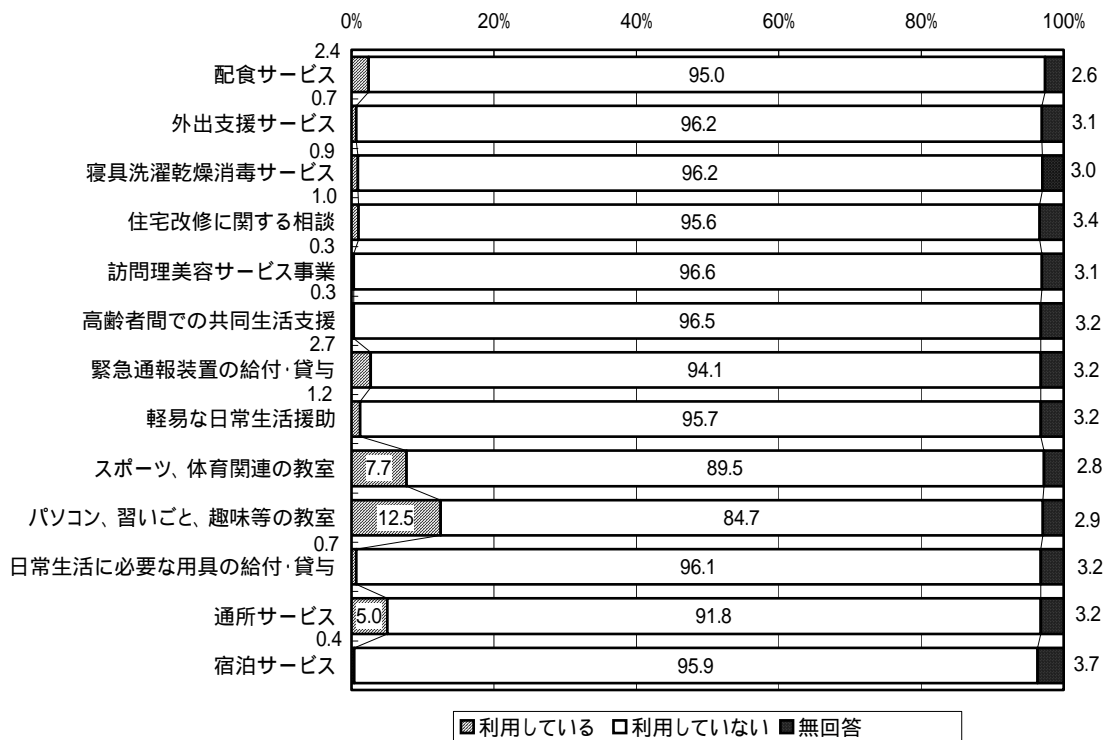
前問において日常生活に何らかの支障をきたすと答えた人 2.3%



日常生活に何らかの支障をきたす人の今後の介護保険サービスについては、「利用したい」が 52.4%、「わからない」が 41.0% であり、「利用したくない」は 0% となっている。

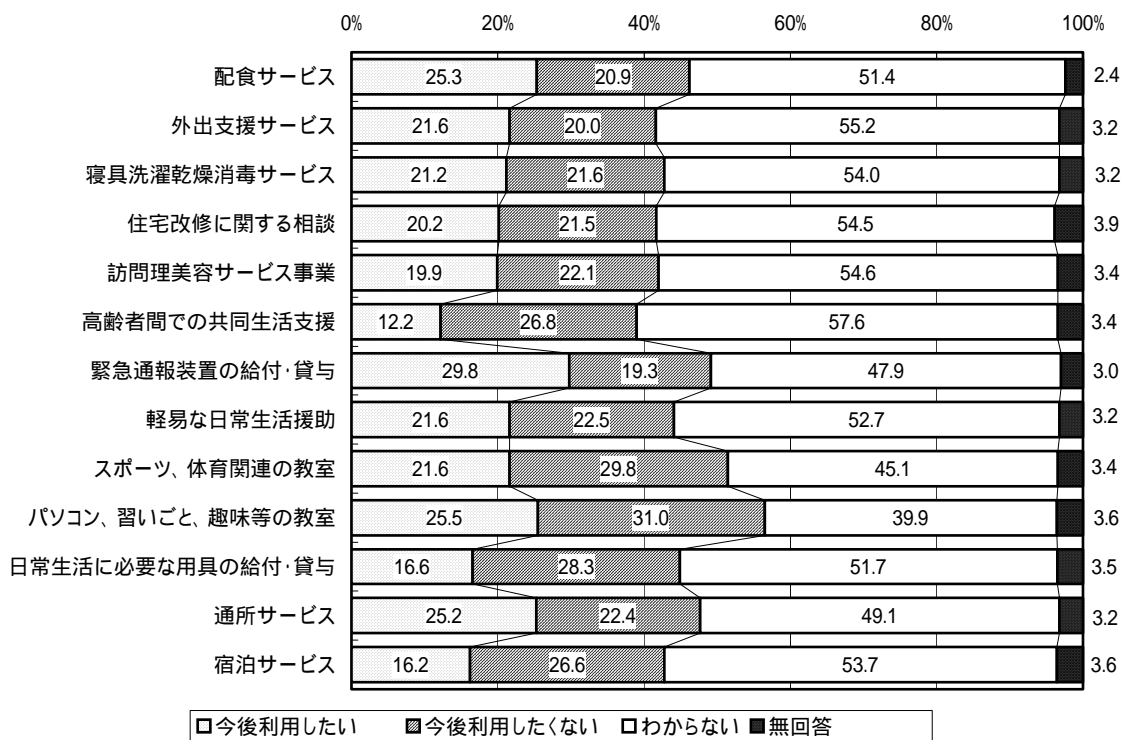
(5) 問16 - 介護保険対象外サービスについての利用状況と利用意向

利用状況(N=5,386)



「利用したことがある」のは、割合が低い「パソコン、習いごと、趣味等の教室」が12.5%と最も高く、次いで「スポーツ、体育関連の教室」、「通所サービス」の順となっている。

利用意向(N=5,386)



「今後利用したい」は、「緊急通報装置の給付・貸与」が29.8%と最も多く、次いで「パソコン、習いごと、趣味等の教室」、「配食サービス」、「通所サービス」の順となっている。どのサービスも現在の利用状況に比べて今後の利用希望は高くなっている。

日常生活の様子(4区分の2)/介護保険対象外サービスの利用状況と利用意向 (%)

	現在利用している			今後利用したい		
	全体 (N=5,386)	大変健康 (N=574)	普通に生活 (N=4,790)	全体 (N=5,386)	大変健康 (N=574)	普通に生活 (N=4,790)
配食サービス	2.4	1.7	2.4	25.3	23.3	25.5
外出支援サービス	0.7	0.3	0.8	21.6	20.7	21.7
寝具洗濯乾燥消毒サービス	0.9	0.5	0.9	21.2	16.9	21.8
住宅改修に関する相談	1.0	0.9	1.0	20.2	17.4	20.5
訪問理美容サービス事業	0.3	0.5	0.3	19.9	18.3	20.1
高齢者間での共同生活支援	0.3	0.5	0.3	12.2	13.6	12.1
緊急通報装置の給付・貸与	2.7	1.7	2.8	29.8	23.9	30.5
軽易な日常生活援助	1.2	0.9	1.2	21.6	17.6	22.1
スポーツ、体育関連の教室	7.7	11.0	7.3	21.6	26.3	21.2
パソコン、習い事、趣味等の教室	12.5	13.9	12.4	25.5	27.2	25.3
日常生活に必要な用具の給付・貸与	0.7	0.9	0.7	16.6	15.0	16.8
通所サービス	5.0	3.7	5.2	25.2	25.6	25.3
宿泊サービス	0.4	0.3	0.4	16.2	17.8	16.0

利用状況は、全 13 サービスの内、大変健康と普通に生活では余り差がない中、大変健康の利用度が比較的高いのは「スポーツ、体育関連の教室」、「パソコン、習い事、趣味等の教室」であり、普通に生活の利用度が高いのは「配食サービス」、「外出支援サービス」、「緊急通報装置の給付・貸与」、「通所サービス」である。

利用意向では、大変健康の利用意向度が高いのは「高齢者間での共同生活支援」、「スポーツ、体育関連の教室」、「パソコン、習い事、趣味等の教室」、「宿泊サービス」であり、普通に生活の利用意向度が高いのは「配食サービス」、「寝具洗濯乾燥消毒サービス」、「住宅改修に関する相談」、「訪問理美容サービス」、「緊急通報装置の給付・貸与」、「軽易な日常生活援助」、「日常生活に必要な用具の給付・貸与」である。これらの他のサービスは余り差がない。

(6)問17-保健サービスについての利用状況と利用意向

日常生活の様子(4区分の2)/保健サービスの利用状況と利用意向 (%)

	利用したことがある			今後利用したい		
	全体 (N=5,386)	大変健康 (N=574)	普通に生活 (N=4,790)	全体 (N=5,386)	大変健康 (N=574)	普通に生活 (N=4,790)
健康教育	19.3	19.3	19.4	58.8	64.8	58.2
健康相談	19.6	19.3	19.8	62.8	67.1	62.4
健康診査	58.0	62.4	57.7	73.8	80.8	73.1
健康指導	26.7	26.8	26.8	64.4	69.3	64.0
機能訓練	4.6	4.0	4.7	51.6	56.4	51.1

利用状況は、全 5 サービスの内、大変健康と普通に生活では余り差がない中、大変健康で「健康診査」での利用度が高い。

利用意向は、「機能訓練」が大幅に利用現状から増えている様に、他のサービスも利用意向度が高い。なお、全サービス、大変健康の利用意向度が高い。

(7) 問18 - 相談サービスについての利用状況と利用意向

日常生活の様子(4区分の2)/相談サービスの利用状況と利用意向

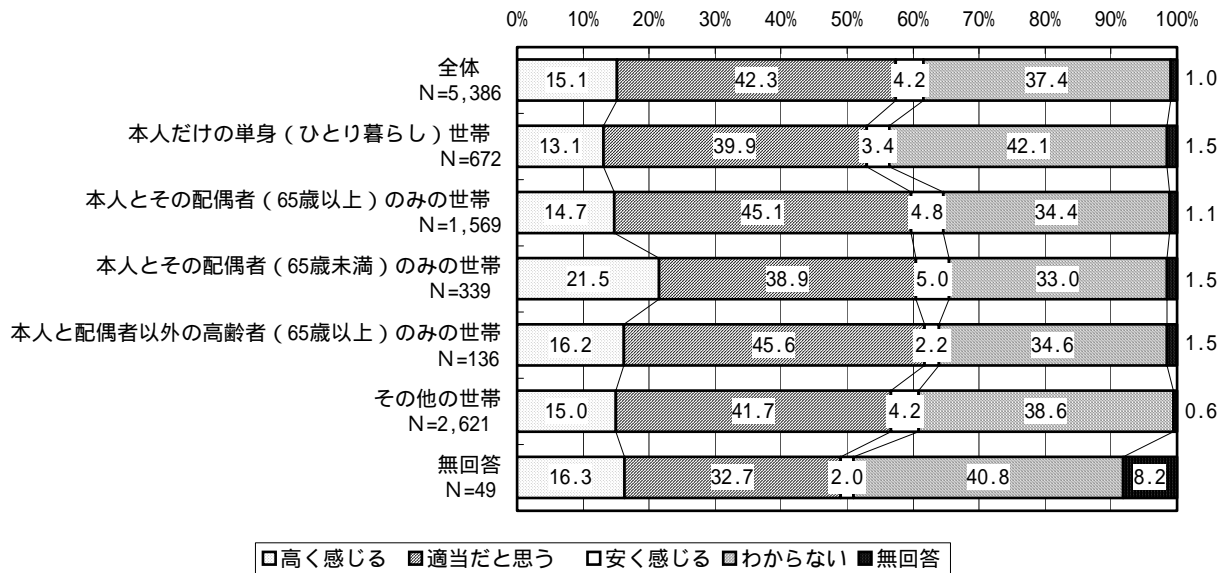
(%)

	利用したことがある			今後利用したい		
	全体 (N=5,386)	大変健康 (N=574)	普通に生活 (N=4,790)	全体 (N=5,386)	大変健康 (N=574)	普通に生活 (N=4,790)
佐賀県シルバー情報相談センター(シルバー110番)	2.2	1.0	2.3	51.6	51.9	51.5
佐賀県介護実習普及センター	2.2	2.4	2.2	48.6	48.4	48.7
在宅介護支援センター	3.6	2.3	3.8	61.4	63.2	61.3
役所、役場、保健所での保健、介護などの相談	7.1	7.0	7.1	68.4	70.6	68.3

利用状況は、全4サービス低い。その中で「役所、役場、保健所での保健、介護などの相談」が比較的利用度が高い。

利用意向は、全4サービス高くなっている。その中で「在宅介護支援センター」と「役所、役場、保健所での保健、介護などの相談」が比較的利用意向度が高い。

(8) 問24 - 利用料(1割)負担について(N=5,386)



全体では、「適当だと思う」が42.3%と最も高く、次いで「高く感じる」が15.1%、「安く感じる」が4.2%である。「わからない」が37.4%を占めている。

家族形態では、「本人とその配偶者(65歳未満)のみの世帯」に「高く感じる」割合が高い。

前回と比べると、「わからない」が新たな選択項目に入り、全体で「高く感じる」割合が14.2ポイント減っている。家族形態では、「本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯」で、最大16.5ポイント減っている。

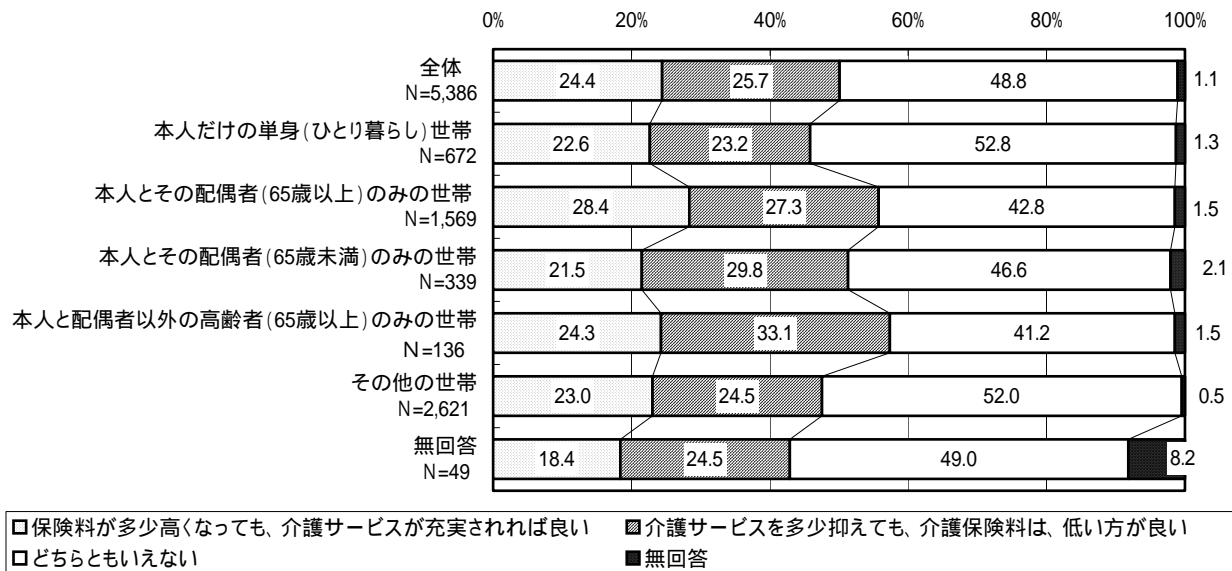
日常生活の様子(4区分の2)/介護保険利用料について

(%)

	高く感じる	適当だと思う	安く感じる	わからない	無回答
全体(N=5,386)	15.1	42.3	4.2	37.4	1.0
大変健康(N=574)	21.3	39.5	5.4	33.4	0.3
普通に生活(N=4,790)	14.4	42.6	4.1	37.9	1.0

日常生活の様子で見ると、大変健康に「高く感じる」割合が高い。

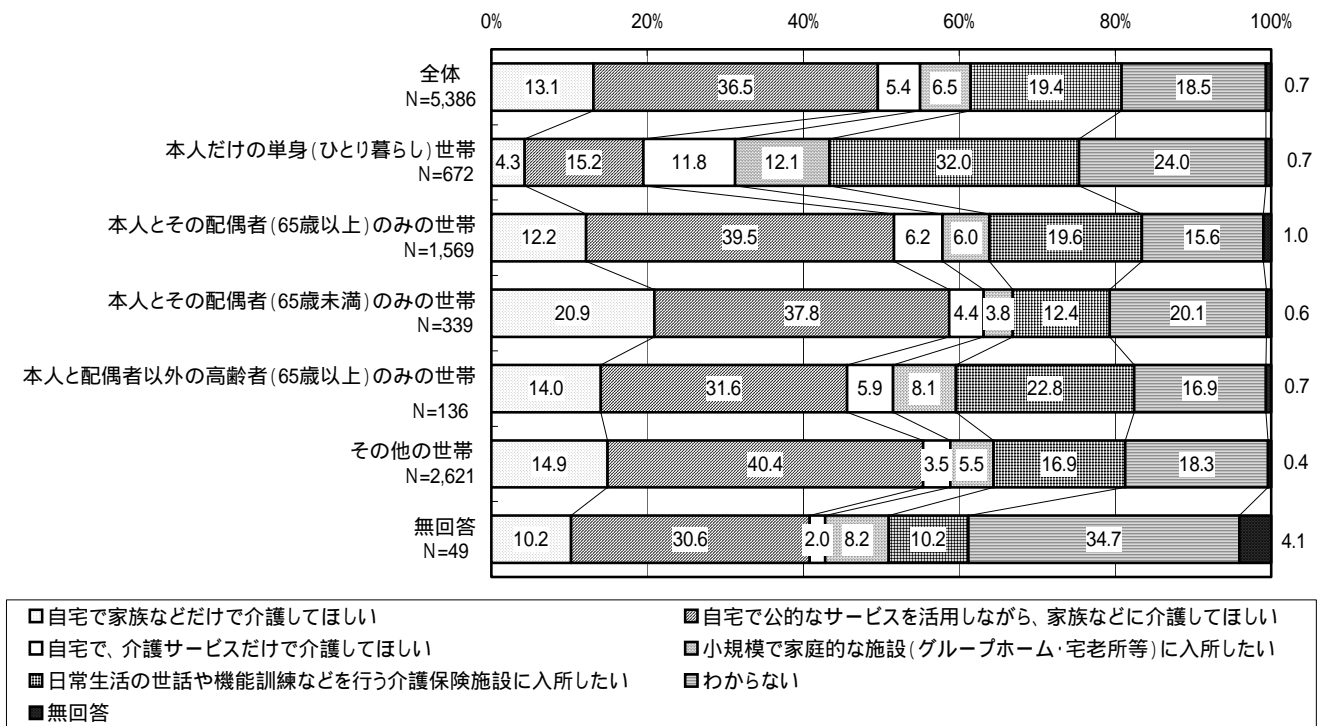
(9) 問25 - 介護保険料と介護サービスのあり方について (N=5,386)



全体では、「どちらともいえない」が48.8%と最も高く、次いで「介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方が良い」が25.7%、「保険料が多少高くなっても介護サービスが充実できれば良い」が24.4%である。

家族形態では、「本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯」が「保険料が多少高くなっても介護サービスが充実できれば良い」が高く、「本人と配偶者以外の高齢者(65歳以上)のみの世帯」が「介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方が良い」が高い。

(10) 問26 - 介助が必要になった場合の希望 (N=5,386)



全体では、「自宅で家族などだけで介護してほしい」「自宅で公的なサービスを活用しながら家族などに介護してほしい」「自宅で、介護サービスだけで介護してほしい」のいわゆる自宅介護の合計が55.0%である。

家族形態でみると、施設入所希望は「ひとり暮らし」に高い。

前回の自宅での介護希望率(54.7%)と比べると、在宅での介護の割合は変わらない。